

流通経済大学

履修要綱

社会学部

(2018入学生用)

目 次

教育方針

教育課程表

社会学科 教育課程表

1. 基本科目	6
2. 外国語科目	6
3. 教養科目	8
4. キャリア科目	10
5. 専門科目	11
6. 教職科目	14
卒業に必要な単位数	15

国際観光学科 教育課程表

1. 基本科目	16
2. 外国語科目	16
3. 教養科目	18
4. キャリア科目	20
5. 専門科目	21
6. 教職科目	24
卒業に必要な単位数	25

カリキュラムマップ

一般教養科目カリキュラムマップ	27
キャリア科目カリキュラムマップ	28
社会学科カリキュラムマップ	31
国際観光学科カリキュラムマップ	35

履修の手引

1. セメスター制	39
2. 単位制	39
3. 最高履修単位数	39
4. 3学年進級に必要な単位数	39
5. 卒業	40
6. 科目の履修	40
7. 単位の修得	41
8. 休講と補講	42
9. 出席調査	42

10. 災害時の授業	42
11. 試験	42
12. 不正行為	43
13. 成績評価	44
14. G P A	44
15. 他キャンパス受講	45
16. キャンパス変更	45
17. 演習の履修	45
18. 卒業論文	46
19. 単位の認定	47
20. 資格の取得	52
21. 社会福祉士受験資格取得希望者のための履修指導	60
22. 履修モデル	63

教育方針

社会学部の教育方針

社会学部では、社会的な素養を十分に身に付けた高度の教養人の養成を目的とする（流通経済大学・学則・第4条の2）。

現代社会は、経済が世界的規模で動き、科学技術の進歩が日々の生活の利便性をどんどん高めています。そのように社会での関係が広域化し、複雑化する一方で、私たちのまわりには、これまでにはなかった問題が新たに発生したり、あるいはこれまではそれほどでもなかった問題が深刻になってきていたりしています。地球の裏側の経済的出来事がすぐに身近な生活に影響します。ある国のある地域での小さなトラブルが、大きな国際紛争にも発展します。たとえば、生活環境の地域間格差の問題、少子高齢化の問題、少数者への差別や女性の社会参加の問題などは、日本だけの問題ではありません。今日を生きる私たちにとって、世界の出来事や問題は私たち自身の生き方につながっており、また、私たち自身の問題や生き方は、世界全体の人々の問題や生き方にもつながっていることを意識することが必要でしょう。

流通経済大学社会学部では、広く、人間社会のあり方や人間社会の出来事に着目し、さまざまな社会集団や組織、国や地域の歴史や文化、人間やその関係の在り方、価値観の多様性などについて学びます。社会学部全体の指導上の基本姿勢として「理論と実践の結合」「大学と社会の交流」「学問と奉仕（ボランティア活動）の統一」という柱をかかげ、社会学の基礎から現実の社会に関わる最新の社会学および関連科目を展開しています。学生のみなさんが、理論をよく学び、身近なところから問題を発見し、それに関する情報を科学的方法で収集し分析し、得られた結果から自分たちの生きる社会をより良くするための手掛かりをつかみ実践することを大切にしています。

本学社会学部では、それを社会学科と国際観光学科の二学科体制で推進していますので、以下にあげた両学科の指導方針を熟読してください。

社会学科の教育方針

教育目的（流通経済大学・学則・第4条の2）

社会学科では、産業、社会、文化、地域、教育、福祉等にかかわる諸問題に適切に対応しうる実証的な思考能力と行動力を備えた人材の養成を目的とする。

ディプロマポリシー（学位授与の方針） Diploma Policy（略称：DP）

社会学科は、学部の教育目的の下、「産業、社会、文化、地域、教育、福祉等にかかわる諸問題に適切に対応しうる実証的な思考能力と行動力を備えた人材」を育成することを目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識や能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士（社会学）の学位を授与する。

1. 社会学を基盤とした実践的・実証的な社会科学の知識・技能、またその成果を社会に還元しようとする姿勢（実学主義）
2. 歴史、哲学、文学、自然科学などの基礎的教養科目を幅広く受講し、多様な視点からものごとを判断する能力（教養教育）、また専門的知識を体系的に受容する姿勢
3. 生涯学び成長し続けていくための土台を築き、卒業後のキャリアを自ら構想する能力（キャリア教育）
4. 実習・実験に基づいた社会学、心理学、社会福祉学、保育学のいずれかひとつ、または複数についての専門的知識・技能（実践主義）
5. 知識やスキルの活用能力、批判的・論理的思考力、表現能力、コミュニケーション能力、および自ら問題を発見し解決を試みる能動的な姿勢（少人数教育）

カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針） Curriculum Policy（略称：CP）

社会学科では、学部の教育目的を達成するために、以下のような方針でカリキュラムを編成している。

1. 社会学を基盤とし、実践的・実証的な社会科学の知識・技能を身につけることができるように社会学の基礎・調査法等の科目を配置する。
2. 専門的知識を体系的に学ぶための基盤を身につけることができるように、歴史、哲学、文学、自然、健康などの教養科目（基礎・発展）・語学科目・情報処理科目・スポーツ健康科目を幅広く配置する。
3. 生涯学び成長し続けていくための土台を築くことができるように、キャリア科目、インターシップ科目を配置する。
4. 社会学、心理学、社会福祉学、保育学の領域において、専門的な知識・技能を身につけることができるように、専門科目（講義）及び実習・演習科目を配置する。
5. コミュニケーション能力を育成するとともに、自ら問題を発見し解決を試みる能動的な姿勢をもつことができるように、1年次から4年次まで演習を配置する。また、卒業論文を課すことによって、各自の学習成果を社会に還元できるようにする。
6. 人間・社会・自然に対する理解を深め、豊かな教養を育むために、他学部・他学科の科目を配置する。

国際観光学科の教育方針

教育目的（流通経済大学・学則・第4条の2）

国際観光学科では、観光に関わる生活、産業、社会、文化などの分野で、柔軟な思考能力と専門的な知識を備えて活躍する国際的人材の養成を目的とする。

ディプロマポリシー（学位授与の方針） Diploma Policy（略称：DP）

国際観光学科は、学部の教育目的の下、「観光にかかわる生活、産業、社会、文化などの分野で、柔軟な思考能力と専門的な知識を備えて活躍する国際的人材の養成」を目指しており、所定の単位を修得し、以下のような知識、能力、態度を身につけた学生の卒業を認定し、学士(社会学)の学位を授与する。

1. 社会学的方法を基盤に実証的、実践的に観光を理解する。
2. グローバル化した現代の旅行業、その他観光産業において活躍できる英語コミュニケーション能力を身につける。
3. 国際文化、観光産業、地域イノベーションの三つの領域の一つにおいて、その現場で活躍できるレベルで観光を専門的に理解する。
4. 旅行業等の観光産業において有用な資格や技能を身につける。
5. 観光の仕事現場や、その他の社会生活の局面において、主体的に問題発見し、その解決に向けて行動できる人材を育成する。
6. 豊かな教養を基盤に、生涯に渡り主体的に考え行動できる社会人としての姿勢を身に着ける。

カリキュラムポリシー（教育課程の編成・実施の方針） Curriculum Policy（略称：CP）

国際観光学科では、学部の教育目的を達成するために、以下のような方針でカリキュラムを編成している。

1. 社会学的方法を基礎に観光を学修するという観点から、学科基礎科目として観光概論と社会学概論を、研究基礎科目として観光社会学、社会調査法等の科目を配置する。
2. 英語によるコミュニケーション能力を高めるために、外国語科目の他に、学科の必修科目として観光英語を配置する。
3. 国際文化、観光産業、地域イノベーションの三つのモデルを配置し、それぞれの領域において専門的知識を体系的に学修できるよう、講義科目を配置する。
4. 旅行業等の観光産業において必要とされる資格の取得を促すために、その導入科目を配置する。
5. 観光を通じた国際交流、観光産業におけるプロの仕事の体感、地域における観光町づくりへの参加等、多様な観光に関連する現場における主体的かつ実践的な学修が可能となるよう、複数のプログラムを用意したプロジェクト学習を配置する。
6. 専門分野である観光に対する理解をより深めるために、社会、経済、経営、法学等において関連する科目を配置する。

7. 主体的に問題を発見し解決する能力を段階的に育成するために、1年次から4年次まで、演習（ゼミ）を配置する。また、4年次には、問題発見、解決過程の論理的な表現として卒業論文を課す。
8. 生涯に渡り、主体的、能動的に生きる姿勢を養うために、キャリア関連科目を配置する。
9. 社会人として幅広い視野を身につけるとともに、専門分野としての観光を体系的に学ぶ基盤を作るために、教養基礎科目を配置する。

教育課程表

教育課程表の見方

教育課程表には、各学科で設定されている全ての授業科目、履修学年・学期、必要単位数等の一覧が掲載されています。科目選択や卒業要件なども記載されていますので、「卒業に必要な単位数」および別紙「カリキュラムマップ」とともによく読んで、科目を履修してください。

教育課程表は学科、入学年度によって異なりますので、自分の所属する学科、入学年度に該当する教育課程表を参照してください。また、外国人留学生は、外国人留学生を対象とした説明もよく読んでください。

科目は、必修科目、選択必修科目、選択科目などに分類されます。

- 1) 必修科目とは、定められた配当年次において必ず履修しなければならない授業科目です。
- 2) 選択必修科目は指定された単位数を複数の授業科目の中から選択して、履修する授業科目のことです。
- 3) 選択科目は自由に選択して履修できる授業科目です。単位数に関する規定はありません。
- 4) 自由科目は成績表には記載されますが、卒業単位には算入されない科目です。

記号の説明

- ◎：必修科目です。履修しなければならない学年が指定されています。単位が未修得の場合は、翌年度以降に履修しなければなりません。
- ：選択必修科目です。
- ◆：選択必修科目です。履修しなければならない学年が指定されています。単位が未修得の場合は、翌年度以降に履修しなければなりません。
- ：選択必修科目です。履修することができる学年/学期が指定されています。記号のある学年以外では履修できません。
- ：選択科目です。
- ◎：自由科目です。スポーツ健康科学部以外の課程表にありません。

記号がある欄の学年は履修できる最初の学年です。この記号のある学年以降の学年でも履修することができます。

春学期または秋学期のいずれかの学期に開講される科目は、春学期に記号がついています。春学期に記号がある科目が秋学期に開講される場合がありますので、履修したい科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

社会学科 教育課程表

1. 基本科目

社会学科の基本科目には、必修科目と選択科目があります。

(1) 必修科目

必修科目は合計で 22 単位あります。表にあるすべての科目を履修します。

1 年演習、2 年演習、3 年演習、4 年演習は 4 単位、卒業論文は 4 単位です。演習の履修については「17. 演習の履修」、卒業論文については「18. 卒業論文」に詳しい説明があります。

1 学年において、「情報リテラシー演習 I」を履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考
必修科目 22 単位	演習		SEM06101	1年演習	4	◎								
			SEM06202	2年演習	4			◎						
			SEM06303	3年演習	4					◎				
			SEM06404	4年演習	4								◎	
		卒業論文	GRT06401	卒業論文	4								※	
		情報基礎	EIL06101	情報リテラシー演習 I	2	◎								

※ 期なし「卒業論文」の項を参考にすること

(2) 選択科目

「情報リテラシー演習 II」は選択科目です。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考
選択科目	情報基礎		EIL06102	情報リテラシー演習 II	2		○							

2. 外国語科目

外国語科目には、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、朝鮮・韓国語と日本語の 8 言語があり、必修科目、選択必修科目と選択科目に分かれています。

(1) 必修科目

外国人留学生を除く学生は英語が必修科目、外国人留学生は日本語が必修科目です。外国人留学生を除く学生は 1 学年で 4 単位、2 学年で 2 単位の英語を履修します。外国人留学生は 1 学年で 4 単位、2 学年で 2 単位の日本語を履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単 位	1	1	2	2	3	3	4	4	備考	
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
必修 科目 6 単位	外国語	英語	ENG06101	Comprehensive English 初級 I	1	◎									
			ENG06102	Comprehensive English 初級 II	1		◎								
			ENG06103	Introduction to TOEIC I	1	◎									
			ENG06104	Introduction to TOEIC II	1		◎								
			ENG06205	English Communication 初級 I	1			◎							
			ENG06206	English Communication 初級 II	1				◎						
	日本語	JPN06101	(外) 日本語 A I	1	◎									留学生履修科目	
		JPN06102	(外) 日本語 A II	1		◎								留学生履修科目	
		JPN06103	(外) 日本語 B I	1	◎									留学生履修科目	
		JPN06104	(外) 日本語 B II	1		◎								留学生履修科目	
		JPN06205	(外) 日本語 C I	1			◎							留学生履修科目	
		JPN06206	(外) 日本語 C II	1				◎						留学生履修科目	

(2) 選択必修科目

選択必修科目の外国語は7言語です。外国人留学生を除く学生はフランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、朝鮮・韓国語から1つの言語（2単位）を入学時に選択して、1学年で履修します。外国人留学生は日本語（2単位）を2学年で履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単 位	1	1	2	2	3	3	4	4	備考
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	
選択 必修 科目 2 単位	外国語	フランス語	FRA06101	初級フランス語 I	1	◆								
			FRA06102	初級フランス語 II	1		◆							
	ドイツ語	GER06101	初級ドイツ語 I	1	◆									
		GER06102	初級ドイツ語 II	1		◆								
	スペイン語	SPA06101	初級スペイン語 I	1	◆									
		SPA06102	初級スペイン語 II	1		◆								
	ポルトガル語	POR06101	初級ポルトガル語 I	1	◆									
		POR06102	初級ポルトガル語 II	1		◆								
	中国語	CHI06101	初級中国語 I	1	◆									
		CHI06102	初級中国語 II	1		◆								
	朝鮮・韓国語	KOR06101	初級朝鮮・韓国語 I	1	◆									
		KOR06102	初級朝鮮・韓国語 II	1		◆								
	日本語	JPN06207	(外) 日本語 D I	1			◆							留学生履修科目
		JPN06208	(外) 日本語 D II	1				◆						留学生履修科目

(3) 選択科目

選択科目の外国語には、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語と朝鮮・韓国語があります。選択科目の外国語は2学年または3学年以降に自由に履修することができます。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択科目	外国語	英語	ENG06207	Comprehensive English 中級 I	1			○							
			ENG06208	Comprehensive English 中級 II	1				○						
			ENG06209	資格英語 I	1			○							
			ENG06210	資格英語 II	1				○						
			ENG06211	メディア英語 I	1			○							
			ENG06212	メディア英語 II	1				○						
			ENG06213	English Writing I	1			○							
			ENG06214	English Writing II	1				○						
			ENG06215	English Reading I	1			○							
			ENG06216	English Reading II	1				○						
			ENG06317	English Communication 中級 I	1						○				
			ENG06318	English Communication 中級 II	1							○			
		フランス語	FRA06203	フランス語会話 I	1			○							
			FRA06204	フランス語会話 II	1				○						
		ドイツ語	GER06203	ドイツ語会話 I	1			○							
			GER06204	ドイツ語会話 II	1				○						
		スペイン語	SPA06203	スペイン語会話 I	1			○							
			SPA06204	スペイン語会話 II	1				○						
		ポルトガル語	POR06203	ポルトガル語会話 I	1			○							
			POR06204	ポルトガル語会話 II	1				○						
		中国語	CHI06203	中国語会話 I	1			○							
			CHI06204	中国語会話 II	1				○						
		朝鮮・韓国語	KOR06203	朝鮮・韓国語会話 I	1			○							
			KOR06204	朝鮮・韓国語会話 II	1				○						

3. 教養科目

教養科目は必修科目と選択必修科目に分かれています。

(1) 必修科目

2学年において、「リベラルアーツ演習」を履修します。履修方法については、別途掲示します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考
必修科目 2単位	教養 共通		LIA06201	リベラルアーツ演習	2			◎						

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

(2) 選択必修科目

選択必修科目には、人文、地域、社会、自然、スポーツ・健康の区分があります。表の科目から選択して、20単位以上を履修します。すべての科目を1学年から履修することができます。

(外) が付いている科目名は外国人留学生が履修登録できる科目です。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考			
選択必修科目 20単位以上	教養基礎	人文	HUM06101	哲学Ⅰ	2	●											
			HUM06102	哲学Ⅱ	2		●										
			HUM06103	社会倫理学Ⅰ	2	●											
			HUM06104	社会倫理学Ⅱ	2		●										
			HUM06105	宗教学Ⅰ	2	●											
			HUM06106	宗教学Ⅱ	2		●										
			HUM06107	美術史Ⅰ	2	●											
			HUM06108	美術史Ⅱ	2		●										
			HUM06109	言語論Ⅰ	2	●											
			HUM06110	言語論Ⅱ	2		●										
			HUM06111	現代文章論Ⅰ	2	●											
			HUM06112	現代文章論Ⅱ	2		●										
			HUM06113	考古学Ⅰ	2	●											
			HUM06114	考古学Ⅱ	2		●										
			HUM06115	人文地理学Ⅰ	2	●											
			HUM06116	人文地理学Ⅱ	2		●										
			HUM06117	民俗学Ⅰ	2	●											
			HUM06118	民俗学Ⅱ	2		●										
	地域	REG06101	文学（日本文学）Ⅰ	2	●												
		REG06102	文学（日本文学）Ⅱ	2		●											
		REG06103	文学（外国文学）Ⅰ	2	●												
		REG06104	文学（外国文学）Ⅱ	2		●											
		REG06105	歴史学入門（日本史）Ⅰ	2	●												
		REG06106	歴史学入門（日本史）Ⅱ	2		●											
		REG06107	歴史学入門（東洋史）Ⅰ	2	●												
		REG06108	歴史学入門（東洋史）Ⅱ	2		●											
		REG06109	歴史学入門（西洋史）Ⅰ	2	●												
		REG06110	歴史学入門（西洋史）Ⅱ	2		●											
		REG06111	日本文化論Ⅰ	2	●												
		REG06112	日本文化論Ⅱ	2		●											
		REG06113	外国文化論（アジア）Ⅰ	2	●												
		REG06114	外国文化論（アジア）Ⅱ	2		●											
		REG06115	外国文化論（西欧）Ⅰ	2	●												
		REG06116	外国文化論（西欧）Ⅱ	2		●											
		REG06117	イスラム学Ⅰ	2	●												
		REG06118	イスラム学Ⅱ	2		●											
	REG06119	（外）日本事情（文化と生活）	2	●										留学生履修科目			
	REG06120	（外）日本の思想	2	●										留学生履修科目			
	REG06121	（外）日本の現在	2		●									留学生履修科目			
	社会	LSO06101	憲法Ⅰ	2	●												
		LSO06102	憲法Ⅱ	2		●											
		LSO06103	法学Ⅰ	2	●												
		LSO06104	法学Ⅱ	2		●											
		LSO06105	政治学Ⅰ	2	●												
		LSO06106	政治学Ⅱ	2		●											
LSO06107		経済学Ⅰ	2	●													
LSO06108		経済学Ⅱ	2		●												
LSO06109		社会学Ⅰ	2	●													
LSO06110		社会学Ⅱ	2		●												
LSO06111		心理学Ⅰ	2	●													
LSO06112		心理学Ⅱ	2		●												
LSO06113		教育学Ⅰ	2	●													
LSO06114		教育学Ⅱ	2		●												
LSO06115		現代女性論Ⅰ	2	●													

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1	1	2	2	3	3	4	4	備考	
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋		
	社会		LSO06116	現代女性論Ⅱ	2		●								
			LSO06117	社会環境論Ⅰ	2	●									
			LSO06118	社会環境論Ⅱ	2		●								
	自然		NAT06101	数学Ⅰ	2	●									
			NAT06102	数学Ⅱ	2		●								
			NAT06103	地球科学Ⅰ	2	●									
			NAT06104	地球科学Ⅱ	2		●								
			NAT06105	物質科学Ⅰ	2	●									
			NAT06106	物質科学Ⅱ	2		●								
			NAT06107	生命科学Ⅰ	2	●									
			NAT06108	生命科学Ⅱ	2		●								
			NAT06109	生態学Ⅰ	2	●									
			NAT06110	生態学Ⅱ	2		●								
			NAT06111	自然地理学Ⅰ	2	●									
			NAT06112	自然地理学Ⅱ	2		●								
			NAT06113	自然環境論Ⅰ	2	●									
			NAT06114	自然環境論Ⅱ	2		●								
	スポーツ・健康		SPH06101	スポーツ科学Ⅰ	2	●									
			SPH06102	スポーツ科学Ⅱ	2		●								
			SPH06103	健康科学論Ⅰ	2	●									
			SPH06104	健康科学論Ⅱ	2		●								
			SPH06105	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ	1	●									
			SPH06106	選択スポーツトレーニング実技Ⅱ	1		●								
			SPH06107	生涯スポーツの理論と実技	2	●									

*春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

4. キャリア科目

キャリア科目は選択必修科目です。キャリア形成、社会・企業研究、進路支援などの区分があります。表にある科目から選択して、6単位以上を履修します。

キャリア科目には、RKU入門などの認定科目が含まれています。これらの認定科目は、時間割にはありません。認定科目については、「19.単位の認定」に詳しい説明があります。

(特)の付いている科目は特別奨学生が履修登録する科目です。これらの科目は年間の最高履修単位数には含まれません。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1	1	2	2	3	3	4	4	備考		
						春	秋	春	秋	春	秋	春	秋			
選択必修科目 6単位以上	キャリア	キャリア形成	CAD06101	RKU入門	1	■								認定科目		
			CAD06202	RKU実践	1			●							認定科目	
			CAD06203	(外) ビジネス日本語Ⅰ	1			●							留学生履修科目	
			CAD06204	(外) ビジネス日本語Ⅱ	1				●						留学生履修科目	
			CAD06105	(特) グローバルコミュニケーション(基礎)	1	◆										特別奨学生履修科目
			CAD06206	(特) グローバルコミュニケーション(発展)	1			◆								特別奨学生履修科目
			CAD06107	(特) キャリア特講(基礎)	2	◆										特別奨学生履修科目
			CAD06208	(特) キャリア特講(発展)	2			◆								特別奨学生履修科目
			CAD06309	(特) キャリア特講(職業)	2						◆					特別奨学生履修科目
			CAD06110	キャリアデザイン	2	●										
			CAD06111	キャリアマネジメント	2		●									
			CAD06212	キャリアカウンセリング	2					●						
			CAD06113	海外研修	2	●										認定科目

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考
		社会・企業研究	SCR06101	災害ボランティアⅠ	1	●								認定科目
			SCR06102	災害ボランティアⅡ	1	●								認定科目
			SCR06203	日本通運寄付講座	2			●						
			SCR01110	日本通運寄付講座Ⅱ	2				●					
			SCR06204	全国通運連盟寄付講座	2			●						
			SCR06205	野村証券寄付講座	2			●						
			SCR06206	ダイレクトマーケティング実践講座	2			●						
			SCR06207	インターンシップ(準備)	2			●						
			SCR06208	インターンシップ(報告)	2				●					
			SCR06109	インターンシップ(海外)	2	●								認定科目
			SCR06110	地域ロジスティクス実践講座	2					●				
		進路支援	COS06101	キャリア基礎(言語)	1	■	■							
			COS06102	キャリア基礎(計算)	1	■	■							
			COS06203	キャリア発展(文章)	1			■	■					
			COS06204	キャリア発展(数理)	1			■	■					
			COS06305	職業選択論	2					●				

*春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

5. 専門科目

専門科目は必修科目、選択必修科目と選択科目に分かれており、専門共通、専門基礎、専門発展の区分があります。

(1) 必修科目

1学年において、「社会学概論」、「方法論概説」を履修します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考
必修科目 4単位	専門 共通		SOC06101	社会学概論	2	◎								
			SOC06102	方法論概説	2		◎							

(2) 選択必修科目

専門基礎科目には、社会学、心理学、社会福祉学、保育学の区分があります。専門基礎科目から選択して、36単位以上を履修します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択 必修 科目 36 単位 以上	専門 基礎	社会 学	SOL06101	ボランティア実践Ⅰ	1	●									
			SOL06102	ボランティア実践Ⅱ	1		●								
			SOL06103	社会調査法	2	●									
			SOL06104	社会調査実践法	2		●								
			SOL06205	社会階層論	2			●							
			SOL06206	地域社会学	2			●							
			SOL06207	産業・労働社会学	2			●							
			SOL06208	経済社会学	2			●							
			SOL06209	開発社会学	2			●							
			SOL06210	市民社会政策論	2			●							
			SOL06211	地域づくりの社会学	2			●							
			SOL06212	マス・コミュニケーション論	2			●							

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
		社会学	SOL06213	社会システム論	2			●							
			SOL06214	国際社会学	2			●							
			SOL06215	防災社会論	2			●							
			SOL06216	就職の社会学	2			●							
			SOL06217	計量社会学	2			●							
			SOL06218	社会統計学	2			●							
			SOL06219	社会データ解析	2			●							
			SOL06220	質的調査法	2			●							
			SOL06221	ジェンダー論	2			●							
			SOL06222	社会病理学	2			●							
			SOL06223	家族社会学	2			●							
			SOL06224	教育社会学	2			●							
			SOL06225	文化人類学	2			●							
			SOL06226	グローバル化と文化	2			●							
		SOL06227	法社会学	2			●								
		心理学	PSY06101	心理学概論Ⅰ	2	●									
			PSY06102	心理学概論Ⅱ	2		●								
			PSY06203	対人関係論	2			●							
			PSY06204	社会心理学	2			●							
			PSY06205	臨床心理学概説	2			●							
			PSY06206	実践臨床心理学	2			●							
			PSY06207	学習心理学	2			●							
			PSY06208	行動分析学	2			●							
			PSY06209	発達心理学	2			●							
			PSY06210	児童心理学	2			●							
			PSY06211	産業組織心理学	2			●							
			PSY06212	カウンセリング	2			●							
			PSY06213	性格心理学	2			●							
			PSY06214	適応の心理	2			●							
			PSY06215	学校心理学	2			●							
			PSY06216	親子関係の心理	2			●							
		社会福祉学	SOW06101	社会福祉原論Ⅰ	2	●									
			SOW06102	社会福祉原論Ⅱ	2		●								
			SOW06203	老人福祉論	2			●							
			SOW06204	介護福祉論	2			●							
			SOW06205	児童・家庭福祉論	2			●							
			SOW06206	障害者福祉論	2			●							
			SOW06207	地域福祉論Ⅰ	2			●							
			SOW06208	地域福祉論Ⅱ	2				●						
			SOW06210	社会保障論Ⅰ	2			●							
			SOW06211	社会保障論Ⅱ	2				●						
			SOW06212	福祉運営管理	2			●							
			SOW06213	就労支援	2			●							
			SOW06214	保健医療	2			●							
			SOW06215	公的扶助論	2			●							
		SOW06216	福祉行財政と福祉計画論	2			●								
		SOW06217	医学一般	2			●								
		保育学	ECE06101	保育原理Ⅰ	2	●									
			ECE06102	保育原理Ⅱ	2		●								
			ECE06103	保育表現技術（体育）Ⅰ	1	●									
			ECE06204	保育表現技術（体育）Ⅱ	1			●							
			ECE06105	保育表現技術（造形）Ⅰ	1	●									
			ECE06206	保育表現技術（造形）Ⅱ	1			●							
			ECE06107	保育表現技術（音楽）Ⅰ	1	●									

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
		保育学	ECE06108	保育表現技術（音楽）Ⅱ	1		●								
			ECE06209	保育表現技術（音楽）Ⅲ	1			●							
			ECE06210	家庭支援論	2			●							
			ECE06111	社会的養護	2	●									
			ECE06212	社会的養護内容	1			●							
			ECE06213	子どもの食と栄養	2			●							
			ECE06214	保育の心理学Ⅰ	2			●							
			ECE06215	保育の心理学Ⅱ	1				●						
			ECE06216	保育内容総論	1			●							
			ECE06217	保育内容演習（健康）	1			●							
			ECE06218	保育内容演習（人間関係）	1			●							
			ECE06219	保育内容演習（環境）	1			●							
			ECE06220	保育内容演習（言葉）	1			●							
			ECE06221	保育内容演習（表現）	1			●							
			ECE06222	子どもの保健演習	1			●							
			ECE06223	子どもの保健Ⅰ	2			●							
			ECE06224	子どもの保健Ⅱ	2				●						
			ECE06225	障害児保育	2				●						
			ECE06326	保育課程論	2					●					
			ECE06327	保育相談支援	1					●					
			ECE06328	乳児保育	2						●				
			ECE06429	保育実践演習	2								●		

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

(3) 選択科目

選択科目には、社会学、心理学、社会福祉学、保育学、学科共通の区分があります。表から自由に科目を選択して、履修します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考		
選択科目	専門発展	社会学	SOL06328	社会調査実習	4						○					
			心理学	PSY06217	知覚心理学	2			○							
		PSY06218		認知心理学	2			○								
		PSY06219		心理学研究法Ⅰ	2			○								
		PSY06220		心理学研究法Ⅱ	2				○							
		PSY06221		家族心理学	2			○								
		PSY06222		健康心理学	2			○								
		PSY06223		消費者行動論Ⅰ	2			○								
		PSY06224		消費者行動論Ⅱ	2				○							
		SOW06326		心理学基礎実験Ⅰ	2			○								
		SOW06327		心理学基礎実験Ⅱ	2				○							
		社会福祉学		SOW06218	ソーシャルワーク論Ⅰ	2			○							
				SOW06219	ソーシャルワーク論Ⅱ	2				○						
			SOW06220	社会福祉援助技術論（実践応用）Ⅰ	2			○								
	SOW06221		社会福祉援助技術論（実践応用）Ⅱ	2				○								
	SOW06222		介護概論	2			○									
	SOW06223		社会保障法	2			○									
	SOW06224		社会保障法Ⅱ	2				○								
	SOW06227		社会福祉援助技術論（基礎理論）Ⅰ	2			○									
	SOW06228		社会福祉援助技術論（基礎理論）Ⅱ	2				○								
	SOW06229		相談援助演習Ⅰ	2				○								
	SOW06330		相談援助演習Ⅱ	2						○						

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
		保育学	SOW06431	相談援助演習Ⅲ	1							○			
			SOW06332	相談援助実習指導	3								○		
			SOW06433	相談援助実習	4								○		
			ECE06230	保育実習事前指導	1				○						
			ECE06331	保育実習指導Ⅰ	2						○				
			ECE06332	保育実習指導Ⅱ	2						○				
			ECE06333	保育実習Ⅰ	2						○				
			ECE06334	保育実習Ⅱ	2						○				
			ECE06435	保育実習指導Ⅲ・Ⅳ	1								○		
			ECE06436	保育実習Ⅲ	2								○		
			ECE06437	保育実習Ⅳ	2								○		
		学科 共通	DEC06301	人的資源管理論Ⅰ	2					○					
			DEC06302	人的資源管理論Ⅱ	2						○				
			DEC06303	マーケティング論Ⅰ	2						○				
			DEC06304	マーケティング論Ⅱ	2						○				
			DEC06305	スポーツマネジメント論	2						○				
			DEC06306	スポーツ心理学	2						○				
			DEC06307	コーチング論	2						○				
			DEC06208	刑法（総論）Ⅰ	2			○							

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

6. 教職科目

教員免許を取得するために必要な科目です。表にある科目の20単位までを卒業単位に算入することができます。教員免許を取得するためには、表にある科目以外にも履修する科目がありますので、別冊「教職課程・履修の手引き」を参照してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択科目	教職		TEA06101	教師論	2	○									
			TEA06102	教育原理	2	○									
			TEA06103	教育心理学	2	○									
			TEA06104	教育社会学概論	2	○									
			TEA06205	教育課程論	2			○							
			TEA06206	特別活動論	2			○							
			TEA06207	生徒指導論	2			○							
			TEA06208	教育相談	2			○							
			TEA06209	道徳教育論	2			○							
			TEA06310	教育方法学	2						○				

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

卒業に必要な単位数

卒業するために必要な必修科目、選択必修科目、選択科目の単位数は下表の通りです。

授業科目		修得単位数	
必修科目	基本科目	22 単位	34 単位
	外国語科目	6 単位	
	教養科目	2 単位	
	専門共通科目	4 単位	
選択必修科目	外国語科目	2 単位	64 単位以上 左記を含め 90 単位以上
	キャリア科目	6 単位以上	
	教養科目	20 単位以上	
	専門基礎科目	36 単位以上	
選択科目	基本科目		
	外国語科目		
	専門発展科目		
	教職科目		
合計		124 単位	

卒業に必要な単位数は 124 単位であり、このうち必修科目の単位数は 34 単位です。残りの単位数は 90 単位ですので、選択必修科目と選択科目から 90 単位以上を履修しなければなりません。選択必修科目で指定されている履修単位数は 64 単位ですので、不足する 26 単位は、選択必修科目と選択科目から自由に履修してください。

国際観光学科 教育課程表

1. 基本科目

国際観光学科の基本科目には、必修科目と選択科目があります。

(1) 必修科目

必修科目は合計で 22 単位あります。表にあるすべての科目を履修します。

1 年演習、2 年演習、3 年演習、4 年演習は 4 単位、卒業論文は 4 単位です。演習の履修については「17. 演習の履修」、卒業論文については「18. 卒業論文」に詳しい説明があります。

1 学年において、「情報リテラシー演習 I」を履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考
必修科目 22 単位	演習		SEM00101	1年演習	4	◎								
			SEM00202	2年演習	4			◎						
			SEM00303	3年演習	4					◎				
			SEM00404	4年演習	4								◎	
		卒業論文	GRT00401	卒業論文	4								※	
		情報基礎	EIL00101	情報リテラシー演習 I	2	◎								

※ 期なし「卒業論文」の項を参照のこと

(2) 選択科目

「情報リテラシー演習 II」は選択科目です。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考
選択科目	情報基礎		EIL00102	情報リテラシー演習 II	2		○							

2. 外国語科目

外国語科目には、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、朝鮮・韓国語と日本語の 8 言語があり、必修科目、選択必修科目と選択科目に分かれています。なお、専門科目にも英語科目があります。

(1) 必修科目

外国人留学生を除く学生は英語が必修科目、外国人留学生は日本語が必修科目です。外国人留学生を除く学生は 1 学年で 4 単位、2 学年で 2 単位の英語を履修します。外国人留学生は 1 学年で 4 単位、2 学年で 2 単位の日本語を履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
必修科目 6単位	外国語	英語	ENG00101	Comprehensive English 初級 I	1	◎									
			ENG00102	Comprehensive English 初級 II	1		◎								
			ENG00103	Introduction to TOEIC I	1	◎									
			ENG00104	Introduction to TOEIC II	1		◎								
			ENG00205	English Communication 初級 I	1			◎							
			ENG00206	English Communication 初級 II	1				◎						
	日本語	JPN00101	(外) 日本語 A I	1	◎										留学生履修科目
		JPN00102	(外) 日本語 A II	1		◎									留学生履修科目
		JPN00103	(外) 日本語 B I	1	◎										留学生履修科目
		JPN00104	(外) 日本語 B II	1		◎									留学生履修科目
		JPN00205	(外) 日本語 C I	1			◎								留学生履修科目
		JPN00206	(外) 日本語 C II	1				◎							留学生履修科目

(2) 選択必修科目

選択必修科目の外国語は7言語です。外国人留学生を除く学生はフランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、朝鮮・韓国語から1つの言語（2単位）を入学時に選択して、1学年で履修します。外国人留学生は日本語（2単位）を2学年で履修します。指定されたクラスで履修してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択必修科目 2単位	外国語	フランス語	FRA00101	初級フランス語 I	1	◆									
			FRA00102	初級フランス語 II	1		◆								
		ドイツ語	GER00101	初級ドイツ語 I	1	◆									
			GER00102	初級ドイツ語 II	1		◆								
		スペイン語	SPA00101	初級スペイン語 I	1	◆									
			SPA00102	初級スペイン語 II	1		◆								
		ポルトガル語	POR00101	初級ポルトガル語 I	1	◆									
			POR00102	初級ポルトガル語 II	1		◆								
		中国語	CHI00101	初級中国語 I	1	◆									
			CHI00102	初級中国語 II	1		◆								
		朝鮮・韓国語	KOR00101	初級朝鮮・韓国語 I	1	◆									
			KOR00102	初級朝鮮・韓国語 II	1		◆								
日本語	JPN00207	(外) 日本語 D I	1			◆								留学生履修科目	
	JPN00208	(外) 日本語 D II	1				◆							留学生履修科目	

(3) 選択科目

選択科目の外国語には、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、中国語と朝鮮・韓国語があります。選択科目の外国語は2学年または3学年以降に自由に履修することができます。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択科目	外国語	英語	ENG00207	Comprehensive English 中級 I	1			○							
			ENG00208	Comprehensive English 中級 II	1				○						
			ENG00209	資格英語 I	1			○							
			ENG00210	資格英語 II	1				○						
			ENG00211	メディア英語 I	1			○							

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
		英語	ENG00212	メディア英語Ⅱ	1				○						
			ENG00213	English Writing I	1			○							
			ENG00214	English Writing II	1				○						
			ENG00215	English Reading I	1			○							
			ENG00216	English Reading II	1				○						
			ENG00317	English Communication 中級Ⅰ	1					○					
			ENG00318	English Communication 中級Ⅱ	1						○				
		フランス語	FRA00203	フランス語会話Ⅰ	1			○							
			FRA00204	フランス語会話Ⅱ	1				○						
		ドイツ語	GER00203	ドイツ語会話Ⅰ	1			○							
			GER00204	ドイツ語会話Ⅱ	1				○						
		スペイン語	SPA00203	スペイン語会話Ⅰ	1			○							
			SPA00204	スペイン語会話Ⅱ	1				○						
		ポルトガル語	POR00203	ポルトガル語会話Ⅰ	1			○							
			POR00204	ポルトガル語会話Ⅱ	1				○						
		中国語	CHI00203	中国語会話Ⅰ	1			○							
			CHI00204	中国語会話Ⅱ	1				○						
		朝鮮・韓国語	KOR00203	朝鮮・韓国語会話Ⅰ	1			○							
			KOR00204	朝鮮・韓国語会話Ⅱ	1				○						

3. 教養科目

教養科目は必修科目と選択必修科目に分かれています。

(1) 必修科目

2学年において、「リベラルアーツ演習」を履修します。履修方法については、別途掲示します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考
必修科目 2単位	教養 共通		LIA00201	リベラルアーツ演習	2			◎						

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

(2) 選択必修科目

選択必修科目には、人文、地域、社会、自然、スポーツ・健康の区分があります。表の科目から選択して、20単位以上を履修します。すべての科目を1学年から履修することができます。

(外) が付いている科目名は外国人留学生が履修登録できる科目です。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択必修科目 20	教養 基礎	人文	HUM00101	哲学Ⅰ	2	●									
			HUM00102	哲学Ⅱ	2		●								
			HUM00103	社会倫理学Ⅰ	2	●									
			HUM00104	社会倫理学Ⅱ	2		●								
			HUM00105	宗教学Ⅰ	2	●									
			HUM00106	宗教学Ⅱ	2		●								
			HUM00107	美術史Ⅰ	2	●									
			HUM00108	美術史Ⅱ	2		●								

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考		
単位以上	人文		HUM00109	言語論Ⅰ	2	●										
			HUM00110	言語論Ⅱ	2		●									
			HUM00111	現代文章論Ⅰ	2	●										
			HUM00112	現代文章論Ⅱ	2		●									
			HUM00113	考古学Ⅰ	2	●										
			HUM00114	考古学Ⅱ	2		●									
			HUM00115	人文地理学Ⅰ	2	●										
			HUM00116	人文地理学Ⅱ	2		●									
			HUM00117	民俗学Ⅰ	2	●										
			HUM00118	民俗学Ⅱ	2		●									
			地域		REG00101	文学（日本文学）Ⅰ	2	●								
				REG00102	文学（日本文学）Ⅱ	2		●								
				REG00103	文学（外国文学）Ⅰ	2	●									
				REG00104	文学（外国文学）Ⅱ	2		●								
				REG00105	歴史学入門（日本史）Ⅰ	2	●									
				REG00106	歴史学入門（日本史）Ⅱ	2		●								
				REG00107	歴史学入門（東洋史）Ⅰ	2	●									
				REG00108	歴史学入門（東洋史）Ⅱ	2		●								
				REG00109	歴史学入門（西洋史）Ⅰ	2	●									
		REG00110		歴史学入門（西洋史）Ⅱ	2		●									
		REG00111		日本文化論Ⅰ	2	●										
		REG00112		日本文化論Ⅱ	2		●									
		REG00113		外国文化論（アジア）Ⅰ	2	●										
		REG00114		外国文化論（アジア）Ⅱ	2		●									
		REG00115		外国文化論（西欧）Ⅰ	2	●										
		REG00116		外国文化論（西欧）Ⅱ	2		●									
		REG00117		イスラム学Ⅰ	2	●										
		REG00118		イスラム学Ⅱ	2		●									
		REG00119		（外）日本事情（文化と生活）	2	●									留学生履修科目	
		REG00120		（外）日本の思想	2	●									留学生履修科目	
		REG00121		（外）日本の現在	2		●								留学生履修科目	
		社会		LSO00101	憲法Ⅰ	2	●									
			LSO00102	憲法Ⅱ	2		●									
			LSO00103	法学Ⅰ	2	●										
			LSO00104	法学Ⅱ	2		●									
			LSO00105	政治学Ⅰ	2	●										
			LSO00106	政治学Ⅱ	2		●									
			LSO00107	経済学Ⅰ	2	●										
			LSO00108	経済学Ⅱ	2		●									
			LSO00109	社会学Ⅰ	2	●										
			LSO00110	社会学Ⅱ	2		●									
			LSO00111	心理学Ⅰ	2	●										
			LSO00112	心理学Ⅱ	2		●									
			LSO00113	教育学Ⅰ	2	●										
			LSO00114	教育学Ⅱ	2		●									
			LSO00115	現代女性論Ⅰ	2	●										
			LSO00116	現代女性論Ⅱ	2		●									
			LSO00117	社会環境論Ⅰ	2	●										
			LSO00118	社会環境論Ⅱ	2		●									
		自然		NAT00101	数学Ⅰ	2	●									
			NAT00102	数学Ⅱ	2		●									
			NAT00103	地球科学Ⅰ	2	●										
			NAT00104	地球科学Ⅱ	2		●									
	NAT00105		物質科学Ⅰ	2	●											

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
		自然	NAT00106	物質科学Ⅱ	2		●								
			NAT00107	生命科学Ⅰ	2	●									
			NAT00108	生命科学Ⅱ	2		●								
			NAT00109	生態学Ⅰ	2	●									
			NAT00110	生態学Ⅱ	2		●								
			NAT00111	自然地理学Ⅰ	2	●									
			NAT00112	自然地理学Ⅱ	2		●								
			NAT00113	自然環境論Ⅰ	2	●									
			NAT00114	自然環境論Ⅱ	2		●								
		スポーツ・健康	SPH00101	スポーツ科学Ⅰ	2	●									
			SPH00102	スポーツ科学Ⅱ	2		●								
			SPH00103	健康科学論Ⅰ	2	●									
			SPH00104	健康科学論Ⅱ	2		●								
			SPH00105	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ	1	●									
			SPH00106	選択スポーツトレーニング実技Ⅱ	1		●								
			SPH00107	生涯スポーツの理論と実技	2	●									

*春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

4. キャリア科目

キャリア科目は選択必修科目です。キャリア形成、社会・企業研究、進路支援などの区分があります。表にある科目から選択して、6単位以上を履修します。

キャリア科目には、RKU 入門などの認定科目が含まれています。これらの認定科目は、時間割にはありません。認定科目については、「19.単位の認定」に詳しい説明があります。

(特)の付いている科目は特別奨学生が履修登録する科目です。これらの科目は年間の最高履修単位数には含まれません。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考			
選択必修科目6単位以上	キャリア	キャリア形成	CAD00101	RKU 入門	1	■								認定科目			
			CAD00202	RKU 実践	1			●							認定科目		
			CAD00203	(外) ビジネス日本語Ⅰ	1			●							留学生履修科目		
			CAD00204	(外) ビジネス日本語Ⅱ	1				●						留学生履修科目		
			CAD00105	(特)グローバルコミュニケーション(基礎)	1	◆										特別奨学生履修科目	
			CAD00206	(特)グローバルコミュニケーション(発展)	1			◆								特別奨学生履修科目	
			CAD00107	(特)キャリア特講(基礎)	2	◆										特別奨学生履修科目	
			CAD00208	(特)キャリア特講(発展)	2			◆								特別奨学生履修科目	
			CAD00309	(特)キャリア特講(職業)	2						◆					特別奨学生履修科目	
			CAD00110	キャリアデザイン	2	●											
			CAD00111	キャリアマネジメント	2		●										
			CAD00212	キャリアカウンセリング	2					●							
			CAD00113	海外研修	2	●										認定科目	
	社会・企業研究			SCR00101	災害ボランティアⅠ	1	●								認定科目		
				SCR00102	災害ボランティアⅡ	1	●									認定科目	
				SCR00203	日本通運寄付講座	2			●								
				SCR01110	日本通運寄付講座Ⅱ	2					●						
				SCR00204	全国通運連盟寄付講座	2			●								
				SCR00205	野村証券寄付講座	2			●								
				SCR00206	ダイレクトマーケティング実践講座	2			●								
				SCR00207	インターンシップ(準備)	2			●								
				SCR00208	インターンシップ(報告)	2					●						
				SCR00109	インターンシップ(海外)	2	●										認定科目

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考
			SCR00110	地域ロジスティクス実践講座	2					●				
		進路支援	COS00101	キャリア基礎 (言語)	1	■	■							
			COS00102	キャリア基礎 (計算)	1	■	■							
			COS00203	キャリア発展 (文章)	1			■	■					
			COS00204	キャリア発展 (数理)	1			■	■					
			COS00305	職業選択論	2						●			
		学科選定	DES00201	観光キャリアケーススタディ	2			●						

*春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

5. 専門科目

専門科目は必修科目、選択必修科目と選択科目に分かれています。

(1) 必修科目

1学年において、「観光学概論」、「社会学概論」と「観光英語Ⅰ・Ⅱ」を履修します。また、2学年において「観光英語Ⅲ・Ⅳ」、3学年において「観光英語Ⅴ・Ⅵ」を履修します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
必修科目 10単位	専門共通 4単位	学科基礎	TOB00101	観光学概論	2	◎									
			TOB00102	社会学概論	2		◎								
	学科英語 6単位	観光英語	TOE00101	観光英語Ⅰ	1	◎									
			TOE00102	観光英語Ⅱ	1		◎								
			TOE00203	観光英語Ⅲ	1			◎							
			TOE00204	観光英語Ⅳ	1				◎						
			TOE00305	観光英語Ⅴ	1					◎					
			TOE00306	観光英語Ⅵ	1							◎			

(2) 選択必修科目

選択必修科目には、専門研究基礎科目、専門基礎科目、専門発展科目の区分があります。専門研究基礎科目から4単位以上、専門基礎科目から22単位以上、専門発展科目から8単位以上を履修します。合計として、選択必修科目から34単位以上を履修します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考
選択必修科目 34単位以上	専門研究基礎 4単位以上	専門研究基礎	TRB00201	観光社会学	2			●						
			TRB00202	観光人類学	2			●						
			TRB00203	観光心理学	2			●						
			TRB00204	社会調査法	2			●						
	専門基礎 22単位以上	基礎共通	TBC00101	観光地理 (国内・基礎)	2	●								
			TBC00102	観光地理 (海外・基礎)	2	●								
			TBC00203	日本文化史	2			●						
			TBC00104	旅行業務総論	2	●								
			TBC00105	旅行流通システム論	2	●								
			TBC00206	社会調査実践法	2			●						
TBC00207	社会統計学	2			●									

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考		
	基礎 共通	基礎 共通	TBC00208	計量社会学	2			●								
			TBC00209	社会データ解析	2			●								
			TBC00210	質的調査法	2			●								
		国際 文化	国際 文化	INC00201	異文化間コミュニケーション論	2			●							
				INC00202	文化人類学	2			●							
				INC00203	国際社会学	2			●							
				INC00204	経済社会学	2			●							
				INC00205	開発社会学	2			●							
				INC00206	観光地理（海外・発展）	2				●						
				INC00207	ヨーロッパ文化論	2			●							
		観光 産業	観光 産業	TUI00201	観光産業論	2			●							
				TUI00202	観光教育論	2			●							
				TUI00203	社会心理学	2			●							
	TUI00204			対人関係論	2			●								
	TUI00205			産業組織心理学	2			●								
	TUI00206			産業・労働社会学	2			●								
	TUI00207			ホスピタリティ論及び実践	2			●								
	TUI00208			ホテルマネジメント論	2			●								
	TUI00209			リゾートマネジメント論	2			●								
	TUI00210			経営学総論Ⅰ	2			●								
	TUI00211			経営学総論Ⅱ	2				●							
	TUI00316			観光マーケティング論Ⅰ	2			●								
	TUI00317			観光マーケティング論Ⅱ	2				●							
	TUI00212			観光経営学	2			●								
	地域イ ノベー ション	地域イ ノベー ション	REI00201	観光地理学	2			●								
			REI00202	観光行動論	2			●								
			REI00203	空間観光論	2			●								
			REI00204	観光事業論	2			●								
			REI00205	観光政策論	2			●								
			REI00206	観光地理（国内・発展）	2			●								
			REI00207	地域社会学	2			●								
			REI00208	地域づくりの社会学	2			●								
			REI00209	市民社会政策論	2			●								
			REI00210	地域と観光	2				●							
	専門 発展 8 単位 以上	専門 共通	専門 共通	TOC00301	テーマツーリズム特殊講義	2				●						
				TOC00202	プロジェクト学習Ⅰ	1			●							
				TOC00203	プロジェクト学習Ⅱ	1			●							
				TOC00204	プロジェクト学習Ⅲ	2			●							
				TOC00205	プロジェクト学習Ⅳ	2			●							
				TOC00206	プロジェクト学習Ⅴ	4				●						
				TOC00207	プロジェクト学習Ⅵ	4				●						
		国際 文化	国際 文化	INC00308	グローバル化と文化	2					●					
				INC00309	アジア社会論	2					●					
				INC00310	国際関係論Ⅰ	2					●					
				INC00311	国際関係論Ⅱ	2						●				
		観光 産業	観光 産業	TUI00312	交通サービス論Ⅰ	2					●					
				TUI00313	交通サービス論Ⅱ	2						●				
TUI00314				旅行産業論Ⅰ	2					●						
TUI00315				旅行産業論Ⅱ	2						●					
地域イ ノベー ション		地域イ ノベー ション	REI00310	文化と観光	2					●						
			REI00311	地域経済論Ⅰ	2					●						
			REI00312	地域経済論Ⅱ	2						●					
			REI00313	観光の法と政策	2					●						
			REI00314	地域起こし政策論	2							●				

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

(3) 選択科目

選択科目は観光関連科目です。社会学分野、経済学分野、経営学分野、法学分野、スポーツ分野の区分があります。表から自由に科目を選択して、履修します。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択科目	観光関連科目	社会学分野	SOL00201	心理学概論Ⅰ	2			○							
			SOL00202	心理学概論Ⅱ	2				○						
			SOL00203	社会福祉原論Ⅰ	2			○							
			SOL00204	社会福祉原論Ⅱ	2				○						
			SOL00205	地域福祉論Ⅰ	2			○							
			SOL00206	地域福祉論Ⅱ	2				○						
		経済学分野	ECO00201	社会保障論Ⅰ	2			○							
			ECO00202	社会保障論Ⅱ	2				○						
			ECO00203	経済地理学Ⅰ	2			○							
			ECO00204	経済地理学Ⅱ	2				○						
			ECO00205	交通論Ⅰ	2			○							
			ECO00206	交通論Ⅱ	2				○						
			ECO00207	日本経済論Ⅰ	2			○							
			ECO00208	日本経済論Ⅱ	2				○						
			ECO00209	情報経済論Ⅰ	2			○							
			ECO00210	情報経済論Ⅱ	2				○						
		経営学分野	MAN00201	人的資源管理論Ⅰ	2			○							
			MAN00202	人的資源管理論Ⅱ	2				○						
	MAN00203		会計学Ⅰ	2			○								
	MAN00204		会計学Ⅱ	2				○							
	MAN00305		消費者行動論Ⅰ	2					○						
	MAN00306		消費者行動論Ⅱ	2						○					
	法学分野	LAW00201	地方自治論Ⅰ	2			○								
		LAW00202	地方自治論Ⅱ	2				○							
		LAW00203	国際法Ⅰ	2			○								
		LAW00204	国際法Ⅱ	2				○							
	スポーツ分野	SPO00201	コーチング論	2			○								
		SPO00202	スポーツとメディア	2			○								
		SPO00203	スポーツと国際協力	2			○								
		SPO00204	スポーツと政治	2			○								
		SPO00205	スポーツと文化	2			○								
		SPO00206	スポーツと法	2			○								
		SPO00207	スポーツマネジメント論	2			○								
		SPO00208	スポーツ栄養学Ⅰ	2			○								
		SPO00209	スポーツ外傷・障害と予防	2			○								
		SPO00210	スポーツ社会学	2			○								
		SPO00211	スポーツ心理学	2			○								
		SPO00212	健康づくりとジョギング	2			○								
		SPO00213	体力トレーニング論	2			○								
		SPO00214	発育発達老化の理論・実習	2			○								

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

6. 教職科目

教員免許を取得するために必要な科目です。表にある科目の 20 単位までを卒業単位に算入することができます。教員免許を取得するためには、表にある科目以外にも履修する科目がありますので、別冊「教職課程・履修の手引き」を参照してください。

大区分	中区分	小区分	科目番号	科目名	単位	1春	1秋	2春	2秋	3春	3秋	4春	4秋	備考	
選択科目	教職		TEA00101	教師論	2	○									
			TEA00102	教育原理	2	○									
			TEA00103	教育心理学	2	○									
			TEA00104	教育社会学概論	2	○									
			TEA00205	教育課程論	2			○							
			TEA00206	特別活動論	2			○							
			TEA00207	生徒指導論	2			○							
			TEA00208	教育相談	2			○							
			TEA00209	道徳教育論	2			○							
			TEA00310	教育方法学	2					○					

* 春学期に記号がある科目が春学期の時間割にない場合は、秋学期の時間割を見てください。

卒業に必要な単位数

卒業するために必要な必修科目、選択必修科目、選択科目の単位数は下表の通りです。

授業科目		修得単位数			
必修科目	基本科目	22 単位	40 単位		
	外国語科目	6 単位			
	教養科目	2 単位			
	専門科目	10 単位			
選択必修科目	外国語科目	2 単位	62 単位以上 左記を含め 84 単位以上		
	キャリア科目	6 単位以上			
	教養科目	20 単位以上			
	専門研究基礎科目	4 単位以上			34 単位以上
	専門基礎科目	22 単位以上			
	専門発展科目	8 単位以上			
選択科目	基本科目				
	外国語科目				
	専門関連科目				
	教職科目				
合計		124 単位			

卒業に必要な単位数は 124 単位であり、このうち必修科目の単位数は 40 単位です。残りの単位数は 84 単位ですので、選択必修科目と選択科目から 84 単位以上を履修しなければなりません。選択必修科目で指定されている履修単位数は 62 単位ですので、不足する 22 単位は、選択必修科目と選択科目から自由に履修してください。

カリキュラムマップ

一般教養科目は、次のような分野に大別される。

人文分野

人類の歩みと文化、さらに人間のあり方や生き方を考え、正しい言葉遣いに対する意識をはぐくみ、知性と感性のバランスがとれた円満な人格を形成するため、それに不可欠な知識を習得する。

地域分野

世界の特定の地域に焦点を絞り、その歴史、宗教、文化、文学、民俗、民族、などを、フィールドワーク（現地調査）の成果をも踏まえつつ、専門的に掘り下げる。担当者は、独自に蓄えた専門知識を活かし、概論とは一味違う講義を行なうだろう。

社会分野

さまざまな視野や立場から、主として現代社会の仕組みを学ぶとともに、社会の一構成員として責任感をもって生きることの大切さを考える。

自然分野

自然や宇宙のなりたち、ヒトや生き物全般について考察を深め、数理的・論理的な思考方法を身につける。環境問題や生命倫理なども、主としてこの分野で扱う。

スポーツ・健康分野

健康の保持増進に資する科目・実技のほか、スポーツ科学の理論を学ぶ。主体的な身体の実験、つまり、体をみずからの意志で動かし、その効能をみずからの体で感じる、という体験を、理論および実技の両面から積む。「生涯スポーツ」を意識した実践科目を配し、健康長寿に役立つ知識を身につける。

外国語

〔英語〕 1年次、必修科目

「読む」「聞く」「書く」「話す」の4技能をバランスよく伸ばすための「Comprehensive English 初級 I・II」を、さらに、資格試験 TOEIC 受験を念頭において、実用的な英語の運用能力を高めるための「Introduction to TOEIC I・II」を、それぞれ開講する。2年次には、必修科目として、「English Communication 初級 I・II」を開講し、会話を中心としたコミュニケーション能力の向上をめざす。

2年次以降、選択科目

「Comprehensive English 中級 I・II」「資格英語 I・II」「メディア英語 I・II」「English Writing I・II」「English Reading I・II」を、開講する。3年次以降には、選択科目として、「English Communication 中級 I・II」を、開講する。

〔第二外国語〕 1年次、選択必修科目

フランス語、スペイン語、ポルトガル語、ドイツ語、中国語、朝鮮・韓国語より1科目を選択する。

〔日本語〕 1年次、必修科目（外国人留学生対象）

「日本語 A I・II」および「日本語 B I・II」を、開講する。前者では、日本語の資料や文章を、辞書を使いながら読む力を養う。後者では、授業で課されるレポート作成の基礎となる書く力を養い、さらに日本語能力試験 N2 合格レベルの、総合的な日本語力をつける。

2年次以降、必修科目（外国人留学生対象）

「日本語 C I・II」および「日本語 D I・II」を、開講する。前者では、学術的な文章を読みこなす力を、後者では、論文執筆の基礎となる作文力を身につけることを目標とし、日本語能力試験 N1 合格のための実力を養成する。

リベラルアーツ演習

2年次、必修科目（スポーツ健康科学部を除く）

一般教養科目カリキュラムマップ

	外国語科目			教養科目								
	必修科目	選択必修科目	選択科目	必修科目	選択必修科目							
					人文	地域	社会	自然	スポーツ・健康			
4年												
3年			English Communication中級I English Communication中級II									
2年	English Communication初級I English Communication初級II (外)日本語C I (外)日本語C II	(外)日本語D I (外)日本語D II	Comprehensive English 中級I Comprehensive English 中級II 資格英語 I 資格英語 II メディア英語 I メディア英語 II English Writing I English Writing II English Reading I English Reading II フランス語会話 I フランス語会話 II ドイツ語会話 I ドイツ語会話 II スペイン語会話 I スペイン語会話 II ポルトガル語会話 I ポルトガル語会話 II 中国語会話 I 中国語会話 II 朝鮮・韓国語会話 I 朝鮮・韓国語会話 II	リベラルアーツ演習	哲学 I 哲学 II 社会倫理学 I 社会倫理学 II 宗教学 I 宗教学 II 美術史 I 美術史 II 言語論 I 言語論 II 現代文章論 I 現代文章論 II 考古学 I 考古学 II 人文地理学 I 人文地理学 II 民俗学 I 民俗学 II	文学(日本文学) I 文学(日本文学) II 文学(外国文学) I 文学(外国文学) II 歴史学入門(日本史) I 歴史学入門(日本史) II 歴史学入門(東洋史) I 歴史学入門(東洋史) II 歴史学入門(西洋史) I 歴史学入門(西洋史) II 日本文化論 I 日本文化論 II 外国文化論(アジア) I 外国文化論(アジア) II 外国文化論(西欧) I 外国文化論(西欧) II イスラム学 I イスラム学 II (外)日本事情(文化と生活) (外)日本の思想 (外)日本の現在	憲法 I 憲法 II 法学 I 法学 II 政治学 I 政治学 II 社会学 I 社会学 II 心理学 I 心理学 II 教育学 I 教育学 II 現代女性論 I 現代女性論 II 社会環境論 I 社会環境論 II	数学 I 数学 II 地球科学 I 地球科学 II 物質科学 I 物質科学 II 生命科学 I 生命科学 II 生態学 I 生態学 II 自然地理学 I 自然地理学 II 自然環境論 I 自然環境論 II	スポーツ科学 I スポーツ科学 II 健康科学論 I 健康科学論 II 選択スポーツトレーニング実技 I 選択スポーツトレーニング実技 II 生涯スポーツの理論と実技			
1年	Comprehensive English 初級 I Comprehensive English 初級 II Introduction to TOEIC I Introduction to TOEIC II (外)日本語A I (外)日本語A II (外)日本語B I (外)日本語B II	初級フランス語 I 初級フランス語 II 初級ドイツ語 I 初級ドイツ語 II 初級スペイン語 I 初級スペイン語 II 初級ポルトガル語 I 初級ポルトガル語 II 初級中国語 I 初級中国語 II 初級朝鮮・韓国語 I 初級朝鮮・韓国語 II										

※ (外) は外国人留学生対象の科目です。

※ 必修科目に関しては、全て単位取得しなければならない。

※ 単位数は、外国語科目に関しては1単位、教養科目に関しては、2単位です。ただし、選択スポーツトレーニング実技 I・II に関しては、1単位です。

※ 選択必修科目の(外)日本語D I および(外)日本語D II は、外国人留学生は必ず履修しなければならない。

※ 選択必修科目の外国語科目は、1つの言語(2単位)を必ず履修しなければならない。

※ 選択科目の外国語科目は、自由に履修することができる。

※ 教養科目の選択必修科目(人文、地域、社会、自然、スポーツ・健康)は、20単位以上履修しなければならない。

キャリア科目カリキュラムマップ

本学のキャリア科目は、就職するためのノウハウを学ぶための科目ではありません。「キャリア」という言葉には様々な意味がありますが、本学では「仕事だけでなく家庭や趣味などを含めた人生全体」と捉えます。キャリア科目は皆さんが大学4年間で成長するための支援の一つとして設定しています。

皆さんのキャリア形成支援は、キャリア科目だけが担うものではありません。皆さんのキャリア形成に大切なのは、1～4年までのゼミと学部・学科の基礎・専門科目です。それらの科目が実際の社会とどのように繋がっているのか、そのヒントは「キャリアデザイン」や「キャリアマネジメント」で得られるでしょう。1年次から履修することができますので、大学4年間の学びや活動などの具体的な目標を設定し、4年間で有意義に過ごすことを「キャリアデザイン」や「キャリアマネジメント」の授業で考えてみましょう。

就職活動における筆記試験に不安を感じている方は、1年次のキャリア基礎でSPI対策を始めましょう。2年次からインターンシップに参加することも、就活だけではなく将来の方向性を決めるために良い経験になります。「インターンシップ（準備）」を履修するとスムーズにインターンシップに取り組めます。

教員のように他者への支援に携わりたい方は、2年次から履修できる「キャリアカウンセリング」、企業への就職を希望する方は「職業選択論」「各種寄付講座」の履修をお勧めします。その他に、認定科目として「RKU実践」「災害ボランティア」など、皆さんの活動をサポートする科目もあります。認定方法は、課程表の「履修の手引き」を確認してください。

キャリア科目群には、各学部学科選定の科目もあります。それらの科目もバランスよく履修しましょう。

参考：流通経済大学4年間のキャリア形成支援

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
基本的な考え方		RKU基礎力の醸成 社会へ出るための土台作り				主体的に行動する力の醸成 進路選択への足掛かり			
指針となるテキスト		RKUキャリアガイドブック				就職ガイドブック			
学部教育	少人数教育	1年ゼミ		2年ゼミ		3年ゼミ		4年ゼミ	
	教養・専門領域	語学・必修科目ほか		教養基礎科目ほか		専門基礎科目ほか		専門発展科目ほか	
キャリア科目	キャリア形成基礎	キャリアデザイン	キャリアマネジメント	キャリアカウンセリング					
	社会・企業研究					インターンシップ基礎・各種寄付講座等			
	進路支援	キャリア基礎・キャリア発展		RKU実践				職業選択論	
修学支援	教学支援センター	生活・学習サポート							
						修学基礎講座			
教育導入	教学・就職支援センター	RKU WEE K							
就職支援	就職支援センター	キャリアサポート							
						就職支援プログラム			
				就職ガイダンス・セミナー・学内合同企業説明会・各種試験ほか					
その他	課外講座								

キャリア科目カリキュラムマップ

RKUの目指すキャリア形成

* 社会へ出て専門能力を積み上げるための土台をつくること

* 生涯学び成長し続けるための土台をつくること

	CP1	CP2	CP3		
3年生	☆			(特) キャリア特講 (職業)	特別奨学生
			☆	職業選択論	

	CP1	CP2	CP3		
2年生	☆			(特) キャリア特講 (発展)	特別奨学生
	☆			(特) グローバルコミュニケーション (発展)	特別奨学生
	☆			ビジネス日本語 I	留学生
	☆			ビジネス日本語 I	留学生
		☆		インターンシップ (準備) (報告)	
		☆		ダイレクトマーケティング実践講座	
		☆		野村証券寄付講座	
		☆		全国通運連盟寄付講座	
		☆		日本通運寄付講座	
	☆			キャリアカウンセリング	
			☆	キャリア発展 (文章) (数理)	
	☆			RKU 実践	認定科目

	CP1	CP2	CP3		
1年生	☆			(特) キャリア特講 (基礎)	特別奨学生
	☆			(特) グローバルコミュニケーション (基礎)	特別奨学生
		☆		インターンシップ (海外)	認定科目
		☆		災害ボランティア I II	認定科目
	☆			海外研修	認定科目
			☆	キャリア基礎 (言語) (計算)	
	☆			キャリアマネジメント	
	☆			キャリアデザイン	
	☆			RKU 入門	認定科目

CP1. キャリア形成
 CP2. 社会・企業研究
 CP3. 進路支援

社会学科カリキュラムマップ

社会学科のディプロマ・ポリシー（DP）は、以下の5種の知識、技能、能力、姿勢の向上・獲得を挙げている。

- DP1. 社会学を基盤とした実践的・実証的な社会科学の知識・技能、またその成果を社会に還元しようとする姿勢（実学主義）
- DP2. 歴史、哲学、文学、自然科学などの基礎的教養科目を幅広く受講し、多様な視点からものごとを判断する能力（教養教育）、また専門的知識を体系的に受容する姿勢
- DP3. 生涯学び成長し続けていくための土台を築き、卒業後のキャリアを自ら構想する能力（キャリア教育）
- DP4. 実習・実験に基づいた社会学、心理学、社会福祉学、保育学のいずれかひとつ、または複数についての専門的知識・技能（実践主義）
- DP5. 知識やスキルの活用能力、批判的・論理的思考力、表現能力、コミュニケーション能力、および自ら問題を発見し解決を試みる能動的な姿勢（少人数教育）

以上のディプロマ・ポリシー実現のため、カリキュラム・ポリシー（CP）およびカリキュラム・マップを制定した。

社会学科のカリキュラム・ポリシーは以下の6項目である。

- CP1. 社会学を基盤とし、実践的・実証的な社会科学の知識・技能を身につけることができるように社会学の基礎・調査法等の科目を配置する。
- CP2. 専門的知識を体系的に学ぶための基盤を身につけることができるように、歴史、哲学、文学、自然、健康などの教養科目（基礎・発展）・語学科目・情報処理科目・スポーツ健康科目を幅広く配置する。
- CP3. 生涯学び成長し続けていくための土台を築くことができるように、キャリア科目、インターシップ科目を配置する。
- CP4. 社会学、心理学、社会福祉学、保育学の領域において、専門的知識・技能を身につけることができるように、専門科目（講義）及び実習・演習科目を配置する。
- CP5. コミュニケーション能力を育成するとともに、自ら問題を発見し解決を試みる能動的な姿勢をもつことができるように、1年次から4年次まで演習を配置する。また、卒業論文を課すことにより、各自の学習成果を社会に還元できるようにする。
- CP6. 人間・社会・自然に対する理解を深め、豊かな教養を育むために、他学部・他学科の科目を配置する。

カリキュラム・マップは学生の各人の目指す目的により、大きく4つの領域を掲げている。社会学領域、心理学領域、社会福祉学領域、保育学領域である。まず1、2年次においては全体の基礎となる必修科目を履修すると同時に、各人の目的に沿った基礎的な科目を履修し、その上で目的に沿った専門性を深める科目の履修をすることが望ましい。

また、各科目の左側の記号は各科目とCPとの対応を示している。

【背景黄色】の科目は、必修科目である。それ以外の科目は選択必修および選択科目である。

【背景水色】の科目は、1年次から履修可能な科目である。

【背景青色】の科目は、2年次から履修可能な科目である。

【背景青緑色】の科目は、3年次以降に履修可能な科目である。

社会学科の学生は各人の目的に合った領域をカリキュラム・マップに従って順序良く履修することが望ましい。

社会学科カリキュラムマップ

備考 : 必修科目 : 1・2・3・4年で履修可能 : 2・3・4年で履修可能 : 3・4年で履修可能

- DP 1. 社会学を基盤とした実践的・実証的な社会科学の知識・技能、またその成果を社会に還元しようとする姿勢（実学主義）
 DP 2. 歴史、哲学、文学、自然科学などの基礎的教養科目を幅広く受講し、多様な視点からものごとを判断する能力（教養教育）、また専門的知識を体系的に受容する姿勢

- DP 3. 生涯学び成長し続けていくための土台を築き、卒業後のキャリアを自ら構想する能力（キャリア教育）
 DP 4. 実習・実験に基づいた社会学、心理学、社会福祉学、保育学のいずれかひとつ、または複数についての専門的知識・技能（実践主義）
 DP 5. 知識やスキルの活用能力、批判的・論理的思考力、表現能力、コミュニケーション能力、および自ら問題を発見し解決を試みる能動的な姿勢（少数教育）

	演習（ゼミ）	社会学領域	心理学領域	社会福祉学領域	保育学領域
4年	CP5 4年演習	CP5 卒業論文			
		(CP6 学科共通科目) 人的資源管理論Ⅰ 人的資源管理論Ⅱ マーケティング論Ⅰ マーケティング論Ⅱ スポーツマネジメント論 スポーツ心理学 コーチング論			
3年	CP5 3年演習	CP4 社会調査実習 CP4 社会階層論 CP4 地域社会学 CP4 産業・労働社会学 CP4 経済社会学 CP4 開発社会学 CP4 市民社会政策論 CP4 地域づくりの社会学 CP4 マス・コミュニケーション論 CP4 社会システム論 CP4 国際社会学 CP4 防災社会学 CP4 就職の社会学 CP4 計量社会学 CP4 社会統計学 CP4 社会データ解析 CP4 質的調査法 CP4 ジェンダー論 CP4 社会病理学 CP4 家族社会学 CP4 教育社会学 CP4 文化人類学 CP4 グローバル化と文化 CP4 法社会学	CP4 対人関係論 CP4 社会心理学 CP4 産業組織心理学 CP4 臨床心理学概説 CP4 実践臨床心理学 CP4 カウンセリング CP4 学習心理学 CP4 行動分析学 CP4 発達心理学 CP4 児童心理学 CP4 性格心理学 CP4 適応の心理 CP4 学校心理学 CP4 親子関係の心理 CP4 知覚心理学 CP4 認知心理学 CP4 心理学研究法Ⅰ CP4 心理学研究法Ⅱ CP4 家族心理学 CP4 健康心理学 CP4 消費者行動論Ⅰ CP4 消費者行動論Ⅱ CP4 心理学基礎実験Ⅰ CP4 心理学基礎実験Ⅱ	CP4 相談援助演習Ⅱ CP4 相談援助演習Ⅲ CP4 相談援助実習指導 CP4 相談援助実習 CP4 相談援助演習Ⅰ CP4 社会福祉原論Ⅰ CP4 社会福祉原論Ⅱ CP4 老人福祉論 CP4 介護福祉論 CP4 児童・家庭福祉論 CP4 障害者福祉論 CP4 地域福祉論Ⅰ CP4 地域福祉論Ⅱ CP4 社会保障論Ⅰ CP4 社会保障論Ⅱ CP4 福祉運営管理 CP4 就労支援 CP4 保健医療 CP4 公的扶助論 CP4 福祉行財政と福祉計画論 CP4 医学一般 CP4 ソーシャルワーク論Ⅰ CP4 ソーシャルワーク論Ⅱ CP4 社会福祉援助技術論（実践応用）Ⅰ CP4 社会福祉援助技術論（実践応用）Ⅱ CP4 介護概論 CP4 社会保障法 CP4 社会福祉援助技術論（基礎理論）Ⅰ CP4 社会福祉援助技術論（基礎理論）Ⅱ	CP4 保育実習指導Ⅰ CP4 保育実習指導Ⅱ CP4 保育実習Ⅰ CP4 保育実習Ⅱ CP4 保育実習指導Ⅲ・Ⅳ CP4 保育実習Ⅲ CP4 保育実習Ⅳ CP4 保育実践演習 CP4 保育課程論 CP4 保育相談支援 CP4 乳児保育 CP4 家庭支援論 CP4 社会的養護内容 CP4 子どもの食と栄養 CP4 保育の心理学Ⅰ CP4 保育の心理学Ⅱ CP4 保育内容総論 CP4 子どもの保健Ⅰ CP4 子どもの保健Ⅱ CP4 障害児保育 CP4 保育実習事前指導 CP4 保育表現技術（体育）Ⅱ CP4 保育表現技術（造形）Ⅱ CP4 保育表現技術（音楽）Ⅲ CP4 保育内容演習（健康） CP4 保育内容演習（人間関係） CP4 保育内容演習（環境） CP4 保育内容演習（言葉） CP4 保育内容演習（表現） CP4 子どもの保健演習
2年	CP5 2年演習				
1年	CP5 1年演習	CP4 ボランティア実践Ⅰ CP4 ボランティア実践Ⅱ CP1 社会調査法 CP1 社会調査実践法	CP4 心理学概論Ⅰ CP4 心理学概論Ⅱ	CP4 社会福祉原論Ⅰ CP4 社会福祉原論Ⅱ	CP4 保育原理Ⅰ CP4 保育原理Ⅱ CP4 保育表現技術（体育）Ⅰ CP4 保育表現技術（造形）Ⅰ CP4 保育表現技術（音楽）Ⅰ CP4 保育表現技術（音楽）Ⅱ CP4 社会的養護

- CP 1. 社会学を基盤とし、実践的・実証的な社会科学の知識・技能を身につけることができるように社会学の基礎・調査法等の科目を配置する。
 CP 2. 専門的知識を体系的に学ぶための基盤を身につけることができるように、歴史、哲学、文学、自然、健康などの教養科目（基礎・発展）・語学科目・情報処理科目・スポーツ健康科目を幅広く配置する。
 CP 3. 生涯学び成長し続けていくための土台を築くことができるように、キャリア科目、インターンシップ科目を配置する。

- CP 4. 社会学、心理学、社会福祉学、保育学の領域において、専門的知識・技能を身につけることができるように、専門科目（講義）及び実習・演習科目を配置する。
 CP 5. コミュニケーション能力を育成するとともに、自ら問題を発見し解決を試みる能動的な姿勢をもつことができるように、1年次から4年次まで演習を配置する。また、卒業論文を課すことによって、各自の学習成果を社会に還元できるようにする。
 CP 6. 人間・社会・自然に対する理解を深め、豊かな教養を育むために、他学部・他学科の科目を配置する。

国際観光学科カリキュラムマップ

社会学部国際観光学科では「観光にかかわる生活、産業、社会、文化などの分野で、柔軟な思考能力と専門的な知識を備えて活躍する国際的人材の養成」を目指しています。具体的には、次のような知識・能力・態度を身につけることを目的とし、ディプロマポリシーとして示しています。

- DP1. 社会学的方法を基盤に実証的、実践的に観光を理解する
- DP2. グローバル化した現代の旅行業、その他観光産業他において活躍できる英語コミュニケーション能力を身につける
- DP3. 国際文化、観光産業、地域イノベーションの三つの領域の一つにおいて、その現場で活躍できるレベルで観光を専門的に理解する
- DP4. 旅行業等の観光産業において有用な資格や技能を身につける
- DP5. 観光の仕事現場や、その他の社会生活の局面において、主体的に問題発見しその解決に向けて行動できる人材を育成する
- DP6. 豊かな教養を基盤に、生涯にわたり主体的に考え行動できる社会人としての姿勢を身につける

上記ディプロマポリシーを実現するため、以下のような方針「カリキュラムポリシー」で授業科目を配置しています。カリキュラムマップでは、それぞれの科目がどのようなカリキュラムポリシーの要素があるかを示し、具体的な履修方法の提案をしています。

- CP1. 社会学的方法を基礎に観光を学修するという観点から、学科基礎科目として観光概論と社会学概論を、研究基礎科目として観光社会学、社会調査法等の科目を配置する。
- CP2. 英語によるコミュニケーション能力を高めるために、外国語科目の他に、学科の必修科目として観光英語を配置する。
- CP3. 国際文化、観光産業、地域イノベーションの三つのモデルを配置し、それぞれの領域において専門的知識を体系的に学修できるよう、講義科目を配置する。
- CP4. 旅行業等の観光産業において必要とされる資格の取得を促すために、その導入科目を配置する。
- CP5. 観光を通じた国際交流、観光産業におけるプロの仕事の体感、地域における観光町づくりへの参加等、多様な観光に関連する現場において主体的かつ実践的な学修が可能となるよう、複数のプログラムを用意したプロジェクト学習を配置する。
- CP6. 専門分野である観光に対する理解をより深めるために、社会、経済、経営、法学等において関連する科目を配置する。
- CP7. 主体的に問題を発見し解決する能力を育成するために、1年次から4年次まで、演習（ゼミ）を配置する。また、4年次には、問題発見、解決過程の論理的な表現として卒業論文を課す。
- CP8. 生涯に渡り、主体的、能動的に生きる姿勢を養うために、キャリア関連科目を配置する。
- CP9. 社会人として幅広い視野を身につけるとともに、専門分野としての観光を体系的に学ぶ基盤を作るために、教養基礎科目を配置する。

＜カリキュラムマップの見方と履修に関して＞

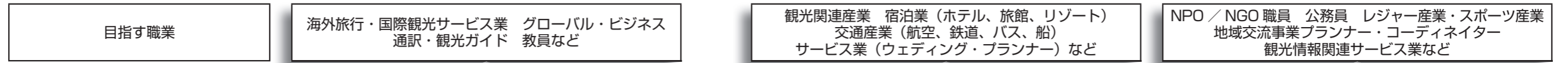
カリキュラムマップには、各人の目指す将来の方向性として、3つのモデル「国際文化モデル」「観光産業モデル」「地域イノベーションモデル」を設定しています。まず、あなたが目指す将来の方向を考えましょう。

次に、自分の目指す方向に配置されている科目を1年次から4年次まで確認しましょう。そして、1年次からバランスよく履修するにはどうすれば良いのかを考えてみましょう。なお、左端に学年が表記されています。各年次にどのような科目を履修できるかを確認し、履修計画をたてましょう。各授業科目の☆は、カリキュラムポリシーを表していますので参考にしてください。

必修科目は必ず配当年次に単位を取得しましょう。学年が上がるにつれて専門的な科目を履修できるようになります。基礎的な科目の単位を1・2年次のうちに取得し、3・4年次で余裕をもって専門科目を履修することをおすすめします。

以上

国際観光学科カリキュラムマップ



国際観光学科ディプロマポリシー (Diploma Policy, DP)
 DP1. 社会学的方法を基盤に実証的、実践的に観光を理解する
 DP2. グローバル化した現代の旅行業、その他観光産業において活躍できる英語コミュニケーション能力を身につける
 DP3. 国際文化、観光産業、地域イノベーションの三つの領域の一つにおいて、その現場で活躍できるレベルで観光を専門的に理解する
 DP4. 旅行業等の観光産業において有用な資格や技能を身につける
 DP5. 観光の仕事現場や、その他の社会生活の局面において、主体的に問題発見し、その解決に向けて行動できる人材を育成する
 DP6. 豊かな教養を基盤に、生涯に渡り主体的に考え行動できる社会人としての姿勢を身に付ける

4年	必修科目	CP7 4年演習	卒業研究	
3年	選択科目 観光関連科目		CP6 消費者行動論 I II CP3 交通サービス論 I II CP3 旅行産業論 I II	
	専門発展科目	CP3 テーマツーリズム特講 CP3 グローバル化と文化 CP3 アジア社会論 CP3 国際関係論 I II		CP3 テーマツーリズム特講 CP3 文化と観光 CP3 地域経済論 I II CP3 観光の法と政策 CP3 地域起こし政策論
	必修科目	CP7 3年演習	CP2 観光英語 V VI	
2年	選択科目 観光関連科目	CP6 経済地理学 I II CP6 交通論 I II CP6 国際法 I II	CP6 心理学概論 I II CP6 社会福祉原論 I II CP6 日本経済論 I II CP6 情報経済論 I II CP6 交通論 I II CP6 会計学 I II CP6 人的資源論 I II	CP6 地域福祉論 I II CP6 社会保障論 I II CP6 地方自治論 I II CP6 経済地理学 I II
	キャリア科目 学科選定	CP8 観光キャリアケーススタディ	CP8 観光キャリアケーススタディ	CP8 観光キャリアケーススタディ
	専門発展科目	CP5 プロジェクト学習 I II CP5 プロジェクト学習 III IV CP5 プロジェクト学習 V VI	CP5 プロジェクト学習 I II CP5 プロジェクト学習 III IV CP5 プロジェクト学習 V VI	CP5 プロジェクト学習 I II CP5 プロジェクト学習 III IV CP5 プロジェクト学習 V VI
	専門基礎科目	CP3 異文化間コミュニケーション論 CP3 文化人類学 CP3 国際社会学 CP3 経済社会学 CP3 開発社会学 CP3 観光地理 (海外・発展) CP3 ヨーロッパ文化論 CP3 日本文化史 CP3 質的調査法 CP3 社会調査実践法	CP3 観光産業論 CP3 観光教育論 CP3 対人関係論 CP3 産業組織心理学 CP3 産業・労働社会学 CP3 ホスピタリティ論及び実践 CP3 リゾートマネジメント論 CP3 ホテルマネジメント論 CP3 経営学総論 I II CP3 計量社会学 CP3 社会統計学 CP3 観光マーケティング I II CP3 観光経営学	CP3 観光地理学 CP3 観光行動論 CP3 空間観光論 CP3 観光事業論 CP3 観光政策論 CP3 観光地理 (国内・発展) CP3 地域社会学 CP3 地域づくりの社会学 CP3 市民社会政策論 CP3 日本文化史 CP3 質的調査法 CP3 社会データ解析 CP3 地域と観光
	専門研究基礎科目	CP1 観光社会学 CP1 社会調査法	CP1 観光人類学	CP1 観光心理学
	必修科目	CP7 2年演習	CP2 観光英語 III IV	
1年	選択科目	CP9 情報リテラシー演習 II	CP9 情報リテラシー演習 II	CP9 情報リテラシー演習 II
	専門基礎科目	CP3 観光地理 (海外・基礎) CP3 観光地理 (国内・基礎)	CP4 旅行流通システム論 CP4 旅行業務総論	CP3 観光地理 (海外・基礎) CP3 観光地理 (国内・基礎)
	必修科目	CP1 観光概論 CP7 1年演習	CP1 社会学概論 CP2 観光英語 I II	CP9 情報リテラシー演習 I

国際観光学科カリキュラムポリシー (Curriculum Policy, CP)
 CP1. 社会学的方法を基盤に観光を学修するという観点から、学科基礎科目として観光概論と社会学概論を、研究基礎科目として観光社会学社会調査法等の科目を配置する。
 CP2. 英語によるコミュニケーション能力を高めるために、外国語科目の他に、学科の必修科目として観光英語を配置する。
 CP3. 国際文化、観光産業、地域イノベーションの三つのモデルを配置し、それぞれの領域において専門的知識を体系的に学修できるよう、講義科目を配置する。
 CP4. 旅行業等の観光産業において必要とされる資格の取得を促すために、その導入科目を配置する。
 CP5. 観光を通じた国際交流、観光産業におけるプロの仕事の体感、地域における観光町づくりへの参加等、多様な観光に関連する現場における主体的かつ実践的な学修が可能となるよう、複数のプログラムを用意したプロジェクト学習を配置する。
 CP6. 専門分野である観光に対する理解をより深めるために、社会、経済、経営、法学等において関連する科目を配置する。
 CP7. 主体的に問題を発見し解決する能力を段階的に育成するために、1年次から4年次まで、演習 (ゼミ) を配置する。また、4年次には、問題発見、解決過程の論理的な表現として卒業論文を課す。
 CP8. 生涯に渡り、主体的、能動的に生きる姿勢を養うために、キャリア関連科目を配置する。(キャリア科目のCPを参照)
 CP9. 社会人として幅広い視野を身につけるとともに、専門分野としての観光を体系的に学ぶ基盤を作るために、教養基礎科目を配置する。(一般教養科目のCPを参照)



履修の手引

1. セメスター制

本学ではセメスター制を採用しています。セメスター制とは、学年を春学期と秋学期とに分け、基本的にはそれぞれの学期（セメスター）で単位を修得し、卒業にいたる制度です。

2. 単位制

単位制とは、「教育課程表」に記載されている科目を履修し、科目ごとに定められている単位を修得して、原則として4年間のうちに、卒業に必要な単位を修得する制度です。

(1) 単位の計算方法

単位は講義科目を基本として1単位あたり45時間の学修を必要とする内容で構成されています。2単位の授業科目は90時間の学修時間が必要という意味です。この内、1/3は授業時間内の学修に、2/3が授業時間外の予習・復習に当てられています。単位数の多い科目は予習・復習にそれだけ多くの学修時間をかけなければなりません。

(2) 科目の単位数

科目の単位数は1単位、2単位、4単位のいずれかであり、「教育課程表」に記載されています。授業は基本的に週1回行われ、その授業形態によって、下記のように単位数が決められています。

- 1) 演習：通年の30回の授業で4単位
- 2) 外国語科目：各学期（春、秋）15回の授業で1単位
- 3) 体育科目・スポーツ実技科目：各学期（春、秋）15回の授業で1単位
- 4) 情報科目：各学期（春、秋）15回の授業で2単位
- 5) 講義科目：各学期（春、秋）15回の授業で2単位
- 6) 実習科目：各学期（春、秋）15回の授業で1単位または2単位

3. 最高履修単位数

年間の最高履修単位数は1・2学年が44単位、3・4学年が49単位です。

各学期の最高履修単位数は、1・2学年では26単位、3・4学年では28単位です。ただし、1・2学年では年間の最高履修単位数は44単位ですので、片方の学期で26単位を履修した場合には、もう片方の学期での最高履修単位数は18単位となります。3・4学年では年間の最高履修単位数は49単位ですので、片方の学期で28単位を履修した場合には、もう片方の学期での最高履修単位数は21単位となります。なお、通年で4単位の科目は春学期2単位、秋学期2単位の履修とみなします。

4. 3学年進級に必要な単位数

2学年終了時において、1年演習・2年演習を含め、40単位に達している場合に3学年への進級を認めます。

- ・ 「教育課程表」以外の科目で修得した単位は3学年進級に必要な単位数には含まれません。
- ・ 2年演習の単位を修得できなかった場合でも、1年演習の単位を修得した上で、40単位を満たし

ていれば、3学年へ進級できます。ただし、経営学科は除きます。

なお、卒業までに2年演習の単位を修得しなければなりません。

5. 卒業

(1) 修業年限

4年以上在学し、卒業に必要な所定の単位を修得した学生は、「卒業」となります。卒業に必要な所定の単位が修得できずに4年の在学年数を超えて在籍する学生は、卒業に必要な単位を修得した学期で卒業となります。が、履修登録時に届出をすることにより、卒業に必要な単位を修得した学期で卒業することもできます。なお、卒業に必要な単位を満たした上で4年を超えて在学することはできません。

(2) 学位

卒業した学生には、次の区分に従い「卒業証書・学位記」を授与します。

学部	学科	学位
経済学部	経済学科	学士（経済学）
	経営学科	学士（経営学）
社会学部	社会学科	学士（社会学）
	国際観光学科	学士（社会学）
流通情報学部	流通情報学科	学士（流通情報学）
法学部	ビジネス法学科	学士（法学）
	自治行政学科	学士（法学）
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	学士（スポーツ健康科学）
	スポーツコミュニケーション学科	学士（スポーツ健康科学）

(3) 副専攻

経済学科では、副専攻に関する所定の要件を満たした学生に対して、卒業時に「副専攻」を修了した旨を認定します。

(4) 卒業発表

卒業発表は、毎年3月および9月に行います。

(5) 卒業式

卒業が決定した学生は、卒業式に出席し、学生証と引き換えに「卒業証書・学位記」を受け取ってください。

6. 科目の履修

科目の履修に際しては、教室で授業を受けるだけでなく、シラバスや教室での指導に基づいて自主的に予習・復習をしてください。また、指定された参考図書などについても学習してください。

(1) 科目の区分

各学年の学生が履修すべき科目は、「教育課程表」に記載されています。

必修科目：非常に重要度の高い科目であり、指定された学年に必ず履修しなければならない科目です。
指定された学年で修得できなかった場合には、原則として次年度に必ず履修しなければなりません。

選択必修科目：必修科目に次いで重要度の高い科目であり、教育課程表の区分欄に記されている条件を満たすように科目を選択して、履修しなければならない科目です。

選択科目：必ず履修しなければならない科目ではなく、自由に選択して履修することができる科目です。修得した単位は卒業単位に算入されます。

自由科目：成績表には記載されますが、修得した単位が卒業単位には算入されない科目です。また、各学年の最高履修単位数にも算入されません。ただし、スポーツ健康科学部の開講科目を他学部から自由科目として履修することはできません。

(2) 履修登録（事前登録）

科目の履修にあたっては、事前に登録をしなければなりません。この登録が完了した時点で、科目の履修が確定し、各自の時間割が決定します。ただし、一部、登録が必要でない科目もあります。

- 1) 各科目の時間割、担当教員等については、3月に発表します。履修ガイダンスに出席し、各自であらかじめ履修したい科目を決めておき、定められた期間に履修登録を行ってください。
- 2) 指定された期間に履修登録手続を怠った場合や誤った登録をした場合、その年度の履修は無効となります。
- 3) 履修登録は、Ring（RKU Interchange for Groups）で行います。

7. 単位の修得

- 1) 履修登録した科目に対してのみ単位の修得が認められます。未登録科目を履修しても単位は修得できません。ただし、別に定めるところにより、単位の修得を認めることがあります。
- 2) 履修登録した科目について、「S・A・B・C」いずれかの成績評価が付与された場合に、当該科目の単位の修得が認められます。また、単位が認定された場合には、「R」が付与され、単位の修得が認められます。なお、「D」（不合格）または「/」（評価不能）が付与された場合には、当該科目の単位の修得は認められません。
- 3) 単位は学期（春・秋）ごとに与えられます。通年科目の単位は春学期および秋学期の成績を総合して付与されます。通年科目は片方の学期だけ履修しても単位は修得できません。
- 4) 単位を修得できなかった科目については、再履修してください。ただし、必修科目以外の科目については、別の科目を選択し、履修しても構いません。
- 5) 一度単位を修得した科目（成績の付与された科目）については、再度履修して単位を取り直すことはできません。

8. 休講と補講

休講の案内は Ring で行います。休講となった場合には補講が行われます。補講は原則として、当該授業のある曜日の5時限または土曜日の午前・午後（龍ヶ崎キャンパス）、6時限または土曜日の午後（新松戸キャンパス）に行われます。補講の詳細については、Ring に掲載します。

9. 出席調査

授業では出席を調査します。出席調査はパソコン・スマートフォン・携帯電話、出席カードや提出物等により行います。インターネットや Wi-Fi に接続できるパソコン・スマートフォン・携帯電話等を準備してください。

10. 災害時の授業

台風や大雪、あるいは地震などにより大きな災害が発生した場合には、電車やバス等の公共交通機関が運行できなくなる事態が予測されます。その場合には、その都度、授業を実施するか否かを発表しますので、各自、以下の方法で確認してください。

- 1) Ring <https://ring.rku.ac.jp/>
- 2) 災害時連絡ダイヤル 0297-64-0009

11. 試験

(1) 定期試験

- 1) 定期の試験として、春学期試験と秋学期試験があります。

春学期試験 7月下旬～8月上旬（約2週間）

秋学期試験 1月下旬～2月上旬（約2週間）

- 2) 試験時間割と注意事項は各試験の1週間前までに Ring に掲示しますので、各自で確認してください。

(2) 試験に関する注意事項

- 1) 学生証は必ず携帯し、試験監督者が見やすい場所（机の上）に常に置いてください。学生証を提示しない者は受験できません。学生証を忘れた者は学生生活課（龍ヶ崎）・学務課（新松戸）で、一日有効の仮学生証（有料）を発行してもらい受験してください。
- 2) 遅刻は試験開始後20分以内に限り認めます。ただし、試験時間は延長しません。
- 3) 試験場からの退場は試験開始後30分以内は許可しません。
- 4) 試験中は携帯情報端末等（携帯電話・スマートフォン・通信機能付き電子辞書等）の電源を切り、カバン、バッグなどの中に入れておいてください。時計・辞書の代わりにはできません。
- 5) 試験場における行動はすべて試験監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は不正行為となります。
- 6) 試験中（定期試験および定期試験以外）に不正行為があった場合には、「試験規則」第8条により処置します。不正行為とは、次のような行為です。

- ・他の学生の答案を見ること。
- ・他の学生とコミュニケーション（話、目くばせなど）をとること。
- ・カンニング・ペーパーを持ち込み、それらを見ること。
- ・許可されていないコピー、テキストなどを持ち込み、それらを見ること。
- ・通信機器を用いて外部と連絡をとること。
- ・あらかじめ机に試験に関する事項を書いておき、それらを見ること。
- ・本人以外の者が代理で受験をすること。
- ・他の学生と物品の貸し借りをすること。
- ・答案用紙を教室外に持ち出すこと。
- ・その他、適正な成績評価を妨げる行為を行うこと。

(3) 追試験

定期試験に欠席した場合には、「試験規則」第4条、第5条により、追試験を願い出ることができません。追試験の願い出は欠席した試験が行われた日から起算して7日以内に行わなければなりません。できるだけ早い時期に必要な公的証明書などを添付して、教務課・学務課に申し出てください。入院等により登校できない場合には、教務課・学務課に電話連絡をして指示を受けてください。

(4) 再試験

再試験は原則として行いません。ただし、卒業該当年次生で、卒業に必要な単位が不足する学生に対して、次の要件をすべて満たす場合に限り、再試験の受験を認めることがあります。

- 1) 卒業に必要な単位数が不足する場合、その不足科目が4科目以内であること。ただし、5年以上在籍した学生の卒業に必要な単位数が不足する場合には、その不足科目が6科目以内であること。
- 2) 卒業年次に履修登録が行われている科目であること。
- 3) 出席不良等の理由で評価不能「/」とされた科目でないこと。
- 4) 本人の申請があること。

(5) レポート提出に関する注意事項

担当教員の指示によりレポートを提出するときは、次の事項に注意してください。

- 1) 指示した期限までに指定場所に提出してください。期限後の提出は無効となります。
- 2) 特別の指示のない限り、A4版の用紙を使用し、とじてください。表紙には、科目名、担当教員名、課題、学生番号および氏名を黒インクで明記してください。

12. 不正行為

試験、出席調査、提出物、その他の授業の実施に係る行為において不正をしてはいけません。試験中に不正行為があった場合は「試験規則」第8条により処置します。また、出席調査、提出物、その他の授業の実施に係る行為において不正があった場合は「試験規則」第8条に準じて処置することがあります。

13. 成績評価

- 1) 成績は、授業科目ごとに行う試験（筆記試験、論文、レポート、口述試験、実技テスト）およびその他担当教員の指定する方法によって評価されます。成績評価方法は、シラバスに記載されています。
- 2) 成績は 100 点法によって評価され、60 点以上を合格とし、下表の基準に従って単位が与えられます。また、単位が認定された場合も単位が与えられます。

合格	「S」90点以上	「A」80～89点	「B」70～79点	「C」60～69点
不合格	「D」59点以下 「／」（評価不能）			
単位認定	「R」			

- 3) 成績表は各学期終了後に交付します。ただし、通年科目はその学年終了後に交付します。
- 4) 成績表は各学期終了後に保証人（父母）宛に郵送します。また、Ring にも提示されます。
- 5) 成績に関して質問のある学生は、「成績確認願」を教務課・学務課に提出し、その成績の確認を求めることができます。

14. GPA

本学では、GPA（グレード・ポイント・アベレージ：履修科目の成績の平均値）を算出する制度を定めています。GPAは、学生の学習意欲を高めるとともに、本学が掲げる教育の質の保証についての具体化を進め、適切な修学指導に資することを目的としています。

(1) GPAの算出方法

GPAは、GPA対象授業科目のうち、履修登録した科目についてそれぞれの単位数にグレードポイント（4、3、2、1、0のいずれか）をかけ、その合計ポイントを単位数の総和で割ったものとなります。

(2) グレードポイント

成績評価に対するグレードポイントは下表の通りです。

評価	グレードポイント
S	4
A	3
B	2
C	1
D	0
／	0
R	適用除外

(3) GPA対象授業科目と適用除外科目

適用除外科目を除くすべての授業科目がGPAの対象となります。

以下の科目は適用除外科目です。これらの科目にはグレードポイントが付加されず、修得単位や成績はGPAの計算には使用しません。

1. 教育課程表にある科目に関する単位認定科目
2. 編入学または転入学した際の単位認定科目
3. 本学入学前に修得した単位認定科目
4. 他大学との単位互換等で修得した科目

(4) GPAの活用

GPAは、本学大学院の内部推薦基準、特別奨学生の採用基準、また学修指導や退学勧告の資料として利用されます。

15. 他キャンパス受講

原則として週1日に限り、他キャンパスで開講される科目の受講を認めることがあります。他キャンパス受講を希望する学生は、履修登録時に教務課・学務課に申請してください。

※ 23 ページ (3)選択科目の中で、龍ヶ崎キャンパスで開講されているスポーツ分野の科目履修を希望する際には、「他キャンパス受講届」を提出し、履修手続きを行ってください。

16. キャンパス変更

所定の要件を満たした場合に限り、所属するキャンパスの変更を認めることがあります。キャンパス変更を希望する学生は、教務課・学務課に申請してください。ただし、スポーツ健康科学部は除きます。

17. 演習の履修

基本科目の演習には、1年演習、2年演習、3年演習、4年演習があります。演習の各クラスは通称「ゼミ」とよばれており、原則として全学年・全員がゼミに所属します。

(1) 社会学科

1) 1年演習

1つのゼミを20名程度で編成し、所属するゼミは入学時に指定します。1年演習の未修得者は3学年に進級できません。

2) 2年演習

1つのゼミを20名程度で編成します。2年演習の選択は、1学年の秋学期に行います。各ゼミの指導計画を選択申込の前に発表しますので、それらを熟読の上、希望するゼミを各々が所属するキャンパスで開講されるゼミ数まで、第1希望から順位をつけて申し込むことができます。また相談期間を設けますので、希望するゼミの担当教員に相談することもできます。ゼミによっては、希望者が定員を上回ることもあります。その場合には、申込書の志望動機や成績などをもとに、担当教員が履修者を選考することがあります。第1希望のゼミに入れなかった場合には、~~2回目~~の選択申込により、定員に満たないゼミの中から、履修するゼミを第2希望以下の順位を考慮しながら社会学科で決定します。

3) 3年演習・4年演習

1つのゼミを20名程度で編成します。3学年、4学年を通じて、同じ教員が担当するゼミを履修します。ゼミの選択は、2学年秋学期に行います。ゼミの決定方法は、上記の2年演習の場合と同様ですが、他キャンパスで開講されるゼミを希望する場合には、必要な手続きがありますので注意してください。3年演習と4年演習は、原則として同一学年で履修することはできません。ゼミの単位を修得できなかった場合には、留年となります。

(2) 国際観光学科

1) 1年演習

1つのゼミを20名程度で編成し、所属するゼミは入学時に指定します。1年演習の未修得者は3学年に進級できません。

2) 2年演習

1つのゼミを20名程度で編成します。2年演習は1年演習とは異なり、希望のゼミを申し込むことができます。2年演習の選択は、1学年の秋学期に行います。各ゼミの指導計画と申込方法をmanaba（流通経済大生が閲覧するWEB）でお知らせします。それらを熟読の上、期限までに申し込みます。希望者が定員を上回る場合は、各自の希望や総合的な観点から学科内で調整し、所属ゼミを決定します。

3) 3年演習・4年演習

1つのゼミを20名程度で編成します。3学年、4学年を通じて、同じ教員のゼミを履修します。ゼミの選択は、2学年の秋学期に行います。ゼミの決定方法は、上記の2年演習の場合と同様です。3年演習と4年演習は、原則として同一学年で履修することはできません。演習の単位を修得できなかった場合には留年となります。

18. 卒業論文

4学年秋学期の指定された期日に「卒業論文」を教務課・学務課に提出してください。演習の担当教員が「卒業論文」を審査し、単位の認定を行います。

論文の提出にあたっては、下記の事項に注意して提出してください。なお、提出期日等の詳細は、10月上旬にRingに掲示しますので、その指示に従ってください。

(1) 用紙等

1) ワープロによる作成

(a) 用紙は、A4判の白用紙を使用します（感熱用紙使用不可）。

(b) 片面のみに印字し、特に指定のない限り1頁あたりの文字数は、1200字程度にします。

(2) 体裁

1) 下に示した表紙をRingからダウンロードし、表紙に必要事項をもれなく記入してください。

2) 1)の表紙を卒業論文の一枚目とし、紙ファイル（2穴フラットファイルA4版）に綴じこんでください。

3) 1) の表紙をもう一枚用意し、紙ファイルの表紙部分に貼り付けてください。

流通経済大学 〇〇年度卒業論文	
論文題目	
● 指導教員 〇〇〇〇	
● 〇〇学科	学生番号〇〇〇〇
氏名	
受付印	

(3) その他

- 1) 横書きの場合は原稿の左側に、パンチで穴を開けてください。
- 2) 目次を付け、本文にはページを振ります。
- 3) 指導教員から特別の指示があれば、上記の体裁に関わらず、その指示に従ってください。

19. 単位の認定

大学の正規の授業以外に、学生のキャリア開発に関連する諸活動や公的機関による資格・検定試験の合格などに、教育課程表にある未修得の科目を履修したものとして単位を認定します。なお、各検定試験の合格証明書は申請日から過去3年間のものを有効とします。これらについての履修登録は必要なく、それぞれの認定要件を満たした段階で申請すると、単位が認定されます。認定される単位数は合計で60単位までです。また、認定された単位数（スポーツトレーニング実技を除く）は、学年別の最高履修単位数には含まれません。

(1) 外国語科目の単位認定

公的な機関による下の表に記した検定試験などで基準点以上の成績を修めた者が、所定の手続きを経て、その合格証（成績表・認定証など）を提出した場合には、教育課程表にある外国語科目を履修したものとみなし、その単位を認定します。

認定科目と試験の種類

			1単位認定	2単位認定	4単位認定	6単位認定	8単位認定
英語	英語検定	日本英語検定協会	準2級	2級	準1級		1級
英語	TOEIC L&R	ETS	400点以上	450点以上	550点以上		700点以上
英語	TOEIC Bridge L&R	ETS	150点以上				
英語	TOEFL	ETS		450点以上	500点以上		550点以上
英語	TOEFL IBT	ETS		45点以上	61点以上		79点以上
中国語	中国語検定	日本中国語検定協会		準4級	4級		3級以上
中国語	漢語水平考試	漢語水平考試委員会		2級以上	4級	5級	6級以上
ドイツ語	ドイツ語技能検定	ドイツ語学文学振興会		4級	3級		2級以上
フランス語	フランス語技能検定	フランス語教育振興協会		4級	3級		2級以上
スペイン語	スペイン語技能検定	日本スペイン協会		6級	5級以上		3級以上
日本語	日本語能力	日本国際教育支援協会	2級、N2	1級、N1			
日本語	JTEST 実用日本語検定	日本語検定協会	600点以上	700点以上			
日本語	日本留学	日本学生支援機構		260点以上			

- ・ TOEIC および TOEFL の基準点は変更する場合があります。
- ・ TOEIC には「一般公開テスト」(SP) と「団体特別受験」(IP) の2種類があります。
 - * 「一般公開テスト」がいわゆる TOEIC で、TOEIC 運営委員会とアメリカの公的機関である ETS (Educational Testing Service) により正式な認定証が発行されます。
 - * 「団体特別受験」は各企業・大学が責任をもって実施する試験で、正式な認定証は発行されません。ただし、TOEIC 運営委員会と実施団体による認定証は発行されます。
 - * 本学では、「一般公開テスト」「団体特別受験」のどちらのスコアでも単位認定の対象とします。
 - * TOEIC Bridge は形式の変更に伴い、単位認定の基準点を 2019 年度以前に受験した場合は 150 点以上、2020 年以降に受験した場合は 80 点以上とします。

- 1) 単位認定は、秋学期定期試験期間終了時までには申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験期間終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験期間終了時までには申請があった場合は春学期に行います。
- 2) 単位認定を希望する者は、必要事項を記入した「単位認定申請書」とそれぞれの試験の「合格証など」を教務課・学務課に提出して申請してください。卒業・進級学年の学生で卒業・進級のため単位認定が必要な場合は、必ず上記の各試験期間終了時までには申請してください。
- 3) 同一の外国語で複数の試験・級に合格した場合は、最上位の試験・級のみが単位認定の対象となります。すでに異なる試験・級・得点により単位認定を受けている場合は、新たに認定を受けられる単位数は、認定済みの単位数を減じた単位数です。
- 4) 認定を受けられる単位数は、最高で8単位です。
- 5) 認定される外国語科目は学部により異なりますので、教務課・学務課にて確認してください。
- 6) 日本語の単位認定を行う場合は、外国語科目の「日本語」各科目のほか、キャリア科目の「(外) ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ」も認定科目の対象となります。

(2) スポーツトレーニング実技の単位認定

重点部に所属する学生について、課外活動状況により「選択スポーツトレーニング実技」を履修したものとみなし、その単位を認定します。ただし、スポーツ健康科学部は除きます。

- 1) 対象学生は、ラグビーフットボール部、剣道部（男・女）、柔道部、サッカー部、陸上競技部（長距離）、アメリカンフットボール部、硬式野球部に所属する学生（マネージャーは除く）です。
- 2) 単位認定を希望する学生は、所定の申請書を作成し、所属する部に提出してください。各部で集約した申請書は、体育指導センターを通して、教務課へ提出されます。
- 3) 単位の認定は、①重点部の活動状況、②部活動への出席状況、③部の練習態度、④部の戦績などをチェックして、体育指導センターが原案を作成し、教授会の議を経て決定します。
- 4) 1学年の春学期に1単位、秋学期に1単位を認定します。1学年で認定されなかった場合には、それ以降の学年で単位認定を申請することができます。

(3) 外国留学

本学の「留学に関する規則」に基づき、外国留学をした学生（外国人留学生を除く）に、留学中の学修内容を審査した上で、教育課程表にある科目の単位認定を行います。

- 1) 外国留学を希望する学生は、留学2ヶ月前までに「留学願」を学長に提出し、国際交流センターの承認を受けてください。
- 2) 単位認定を希望する学生は、留学先からの「出席状況および成績に関する証明書」、「修了証」等を添付し、「単位認定願」を学長に提出してください。
- 3) 単位の認定は、国際交流センターの小委員会が原案を作成し、教授会の議を経て決定します。
- 4) 留学期間中の「演習」については、担当教員と留学者がインターネット等を利用して、相互に緊密な連絡を取り合ってください。担当教員は留学者に対して必要な教育、指導を行い、単位を付与します。演習の単位は認定単位には含めません。
- 5) 外国留学をした学生には、「海外研修」（2単位）の単位認定も行われます。

(4) キャリア科目の単位認定

キャリア科目のうち、「RKU入門」、「RKU実践」、「海外研修」、「災害ボランティアⅠ・Ⅱ」、「インターンシップ（海外）」は認定科目です。

1) RKU 入門

入学直後に行われる導入教育を受講した学生に「RKU入門」の単位を認定します。

- ① 単位の認定は、RKU WEEK 期間内のゼミ、ガイダンスなどの各種講座の受講、その他の関連した授業の受講を前提に、ゼミ担当教員が行います。
- ② すべての学生が履修することを原則とします。
- ③ 1学年の春学期に1単位を認定します。

2) RKU 実践

日常のボランティア活動に対して、所定の要件を満たした場合に単位を認定します。

- ① 対象となるボランティア活動は、大学が認める無報酬の活動です

- ② 活動の3週間前に「RKU 実践活動届」を教務課・学務課に提出してください。
- ③ ボランティア活動の実働3時間を1ポイントとし、合計15ポイントで1単位認定します。ただし、1日2ポイントまでとし、単位認定は在学中1回限りです。
- ④ ボランティア活動参加者は、参加のつど「RKU 実践活動報告書」を別途定める証明部門に提出し、「RKU 実践活動証明書」を受け取り保管しておきます。
- ⑤ 単位認定を希望する場合は、「RKU 実践単位申請書」に15ポイント分の「RKU 実践活動証明書」を添えて学務課・教務課へ提出してください。
- ⑥ 単位認定は、秋学期定期試験終了時までに申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験終了時までに申請のあった場合は春学期に行います。

3) 海外研修

「留学に関する規則」に基づき、「海外研修」2単位を認定します。

4) 災害ボランティア I・II

東日本大震災などの災害発生に関する災害ボランティア活動の参加者に対して、その活動が所定の要件を満たす場合に単位を認定します。

- ① 災害ボランティア活動が45時間相当の場合は1単位、90時間相当の場合は2単位を認定します。
- ② 単位認定を希望する場合は、事前に学生生活課へ「災害ボランティア活動届」を提出し、活動終了後「災害ボランティア単位認定申請書」に「ボランティア活動日誌」「ボランティア活動証明書」(受け入れ機関・団体の証明)を添えて学務課・教務課へ提出してください。

5) インターンシップ (海外)

国際交流センターにおいて定める「海外におけるインターンシップ」に参加した学生に、「インターンシップ (海外)」2単位を認定します。~~詳細については、別途指定します。~~

(5) 資格取得

大学が指定した資格・検定試験に合格した者に単位を認定します。

- ① 資格・検定試験の種類により、資格・検定試験に該当する科目を認定します。
- ② 単位認定は、秋学期定期試験期間終了時までに申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験期間終了後に申請のあったものには、次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験期間終了時までに申請があった場合は春学期に行います。
- ③ 単位認定を希望する者は、必要事項を記入した「単位認定申請書」とそれぞれの試験の「合格証など」を教務課・学務課に提出して申請してください。卒業・進級学年の学生で卒業・進級のため単位認定が必要な場合は、必ず上記の各試験期間終了時までに申請してください。
- ④ 卒業単位として認められる単位は最大20単位です。
- ⑤ 単位を認定する科目と資格・検定試験は表の通りです。なお、年度によって変更となる場合があります。

(6) 法学関連科目の単位認定

法学検定およびビジネス実務法務検定試験に合格した学生に、下記の通り単位の認定をします。

- 1) 単位認定は、秋学期定期試験期間終了時まで申請のあったものについては、申請のあった年度に行い、同試験期間終了後に申請のあったものについては次年度に行います。ただし、春学期での卒業を希望する者から春学期定期試験期間終了時まで申請があった場合は春学期に行います。
- 2) 単位認定を希望する者は、必要事項を記入した「単位認定申請書」とそれぞれの試験の「合格証など」を教務課・学務課に提出して申請してください。卒業・進級学年の学生で卒業・進級のため単位認定が必要な場合は、必ず上記の各試験期間終了時まで申請してください。
- 3) 法学部の学生については、下の表に示した科目から認定します。また、法学部以外の学生については、選択科目の法学関連の科目から認定します。
- 4) 同一の検定試験で複数の級に合格した場合には、上位の級のみが単位認定の対象となります。異なる級の合格によりすでに単位認定を受けている場合は、新たに認定を受けられる単位数は認定済みの単位数を減じた単位数です。
- 5) 認定を受けられる最高単位数は総計8単位です。

	認定単位数			認定科目
	4単位	6単位	8単位	
法学検定 (財)日弁連法務研究財団 (社)商事法務研究会	ベーシック 〈基礎〉コ ース	スタンダ ード〈中級 〉コ ース	アドバンス ト〈上級 〉コ ース	法学特殊講義 法律実務研究 スポーツと法（各科目） 法と文化（各科目）
ビジネス実務法務検定 東京商工会議所	3級	2級	1級	

20. 資格の取得

社会学部では、教員免許に加え、取得できる主な資格は次のとおりです。資格取得を希望する者は計画的に科目を履修するよう心がけてください。

社会学部で取得できる主な資格

資格名	資格認定機関	取得可能 学科		備考
		社 会	観 光	
社会福祉士	厚生労働省	○		国家試験受験資格
認定心理士	日本心理学会	○		科目履修
社会調査士	社会調査士認定機構	○	○	科目履修・申請
保育士	厚生労働省	○		科目履修・申請
児童福祉司	厚生労働省	○		任用資格（1年以上相談業務に従事すること）
社会福祉主事	厚生労働省	○		任用資格
国内・総合旅行業務取扱管理者	国土交通省	○	○	科目履修・課外講座・試験
インフィニ検定試験	株式会社インフィニトラベルインフォメーション	○	○	科目履修・課外講座・試験
公認スポーツ指導者	日本体育協会	○	○	講習一部免除
ピアヘルパー	NPO 日本教育カウンセラー協会	○		科目履修・試験

(1) 教員免許

社会学科では中学校教諭一種（社会）と高等学校教諭一種（公民・福祉）、国際観光学科では中学校教諭一種（社会）と高等学校教諭一種（公民）の教員免許を取得することができます。別冊「教職課程履修の手引き」を参照してください。

(2) 社会福祉士（国家試験受験資格）

社会福祉士は、専門的知識及び技能をもって、身体上もしくは精神上の障害がある者、又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者との連絡及び調整その他の援助を行うことを業とする者です。社会福祉士国家試験に合格し、所定の登録を受けて、社会福祉士の資格を取得することができます。国家試験は、毎年1回行われます。

(3) 認定心理士（日本心理学会による認定資格）

「認定心理士」の資格をもっているからといってすぐに就職に役立つというものではありませんが、心理学のミニマムエッセンス（最小限の標準的基礎学力と技能）を修得していることの証明になります。試験や有効期間はありません。認定心理士の取得条件は次の通りです。

- (a) 基礎科目として「心理学概論」、「心理学研究法」、「心理学基礎実験Ⅰ・Ⅱ」分野の3領域においてそれぞれ4単位以上、合計12単位以上。
- (b) 選択科目として「知覚・学習」、「教育・発達」、「生理・比較」、「臨床・人格」、「社会・産業」の5領域から3領域以上においてそれぞれ4単位以上、計16単位以上。
- (c) その他の科目として心理担当教員の指導での「卒業論文」最大4単位まで。
- (d) (a)~(c)合わせて合計36単位以上。以下、認定心理士の取得条件に対応して、社会学科で用意している科目を示します。

認定心理士の取得条件		社会学科の科目と認定される単位数	
12 単位以上	心理学概論	<input type="checkbox"/> 「心理学概論Ⅰ・Ⅱ」*	各2単位
	心理学研究法	「心理学研究法Ⅰ・Ⅱ」 「心理データ解析」	各2単位
	心理学基礎実験	<input type="checkbox"/> 「心理学基礎実験Ⅰ・Ⅱ」*	各2単位
3 領域以上で 16 単位以上	知覚・学習	「学習心理学」「行動分析学」 「知覚心理学」「認知心理学」	各2単位
	教育・発達	「学校心理学」「親子関係の心理」 「発達心理学」「児童心理学」	各2単位
	臨床・人格	「臨床心理学概説」「実践臨床心理学」 「性格心理学」「適応の心理」 「カウンセリング」「健康心理学」	各2単位
	社会・産業	「社会心理学」「対人関係論」 「産業組織心理学」「家族心理学」 「消費者行動論Ⅰ」「消費者行動論Ⅱ」	各2単位
その他の科目		「卒業論文」	最大4単位
		合計 36 単位以上	

※) で囲んだ科目の取得は必修です。その他の科目は卒業論文も含めて選択です。

認定は卒業後に各自で申請することになります。手続きの方法や費用など詳しくは日本心理学会のホームページ (<http://www.psych.or.jp/>) を見てください。

(4) 社会調査士（社会調査協会による認定資格）

社会調査士とは、情報化社会において「社会調査に関する基礎的な知識・技能、相応の応用力と倫理観を身につけた」人材を養成し、「激動の激しい、多極化・複雑化のすすむ社会的現実をとらえ、生起するさまざまな社会問題への対応と解決を図っていく」ために、日本教育社会学会、日本行動計量学会、日本社会学会の3団体の相互連携によって実現した認定資格です(社会調査協会ホームページ)。行政や福祉の現場では政策決定のための基礎資料を得るための方法として、一般企業でも顧客ニーズの把握のためにも各種の社会調査技術が期待されていますが、プライバシー保護が注目されている現在、社会調査に直接間接にかかわる者には調査に関する知識や技術ばかりでなく、高い倫理観や人権意識が要求されており、社会調査士資格への期待が高まっています。

社会調査士資格の取得を希望する者は、調査関連科目「社会調査法」「社会調査実践法」「計量社会学」「社会統計学」(各2単位) および「社会調査実習(国際観光学科については「プロジェクト学習V・VI」の中の指定されたクラス)」(4単位) の12単位と、「社会データ解析」「質的調査法」(各2単位) から2単位(「社会データ解析」と「質的調査法」はどちらか2単位だけでも認定されますが、両方履修して申請することもできます) の合計14単位(「社会データ解析」と「質的調査法」を両方履修する場合は16単位) を履修してください。なお、国際観光学科では今後も社会調査士資格への対応を継続しますが、2019年度入学生から社会学科の社会調査士資格への対応を停止します。資格取得希望者は下の表を参照して、遅くとも2021年度までに関連科目の単位取得を目指してください。

担当者：社会学科は都築教授 (tsuzuki@rku.ac.jp)、国際観光学科は東教授 (azuma@rku.ac.jp)。

次の科目は下の表にしたがって社会調査士資格取得のための社会調査士科目ではなくなります。

<社会学科のみ>

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
社会調査法	○	×	×	×	×
社会調査実践法	○	×	×	×	×
計量社会学	○	○	○	○	×
社会統計学	○	○	○	○	×
社会データ解析	○	○	○	○	×
質的調査法	○	○	○	○	×
社会調査実習	○	○	○	○	×

○ 社会調査士科目として開講されます

× 社会調査士資格取得の科目ではなくなります

(5) 保育士

保育士は「専門知識及び技術をもって、児童の保育及び児童の保護者に対する保育に関する指導を行うことを業とする者」です。2001年の児童福祉法改正により、名称独占の資格として法定化され、

信用失墜行為の禁止、守秘義務等に関する規定が設けられました。本学では、指定科目を履修し卒業し、保育士登録することによって、保育士として働くことができます。なお、保育士コースを希望するためには、事前の申し込みが必要になります。必ず「保育士資格取得ガイダンス」に出席し、手続きをしてください。

保育士資格の取得条件は次の通りです。

	教科目	授業形態	配当学年	単位数	履修方法	
必修科目	保育原理Ⅰ	講義	1	2	必修科目55単位を履修しなければならない	
	教育原理	講義	1	2		
	児童・家庭福祉論	講義	2・3・4	2		
	社会福祉原論Ⅰ	講義	1・2	2		
	相談援助演習Ⅰ	演習	2	2		
	社会的養護	講義	1	2		
	保育原理Ⅱ	講義	1	2		
	保育の心理学Ⅰ	講義	2・3・4	2		
	保育の心理学Ⅱ	演習	2・3・4	1		
	子どもの保健Ⅰ	講義	2	2		
	子どもの保健Ⅱ	講義	2	2		
	子どもの保健演習	演習	2	1		
	子どもの食と栄養	演習	2	2		
	家庭支援論	講義	2	2		
	保育課程論	講義	3	2		
	保育内容総論	演習	2	1		
	保育内容演習（健康）	演習	2	1		
	保育内容演習（人間関係）	演習	2	1		
	保育内容演習（環境）	演習	2	1		
	保育内容演習（言葉）	演習	2	1		
	保育内容演習（表現）	演習	2	1		
	乳児保育	演習	3	2		
	障害児保育	演習	2・3	2		
社会的養護内容	演習	2	1			
保育相談支援	演習	3	1			
必修科目	保育表現技術（体育）Ⅰ	演習	1	1		
	保育表現技術（音楽）Ⅰ	演習	1	1		
	保育表現技術（音楽）Ⅱ	演習	1	1		
	保育表現技術（造形）Ⅰ	演習	1	1		
	保育実習Ⅰ	実習	3	2		
	保育実習Ⅱ	実習	3	2		
	保育実習事前指導	演習	2	1		
	保育実習指導Ⅰ	演習	3	2		
	保育実習指導Ⅱ	演習	3	2		
	保育実践演習	演習	4	2		
	選択必修科目	地域福祉論Ⅰ	講義	2・3・4	2	左記の中から17単位以上履修しなければならない。
		地域福祉論Ⅱ	講義	2・3・4	2	
		社会福祉援助技術論（基礎理論）Ⅰ	講義	2	2	
社会福祉援助技術論（基礎理論）Ⅱ		講義	2	2		
障害者福祉論		講義	2・3・4	2		
学習心理学		講義	2・3・4	2		
行動分析学		講義	2・3・4	2		
性格心理学		講義	2・3・4	2		
適応の心理		講義	2・3・4	2		
家族社会学		講義	2・3・4	2		
親子関係の心理		講義	2・3・4	2		
学校心理学		講義	2・3・4	2		
カウンセリング		講義	2・3・4	2		
保育表現技術（体育）Ⅱ		演習	2・3	1		
保育表現技術（音楽）Ⅲ		演習	2・3	1		
保育表現技術（造形）Ⅱ		演習	2・3	1		
保育実習Ⅲ		実習	4	2	保育実習ⅢかⅣのどちらかを選択し実習指導を併せて3単位を履修しなければならない。	
保育実習Ⅳ		実習	4	2		
保育実習指導Ⅲ・Ⅳ	演習	4	1			

	教科目	授業形態	配当学年	単位数	履修方法
教養科目	社会学Ⅰ	講義	1-4	2	左記の中から6単位以上履修しなければならない。
	社会学Ⅱ	講義	1-4	2	
	憲法Ⅰ	講義	1-4	2	
	憲法Ⅱ	講義	1-4	2	
	心理学Ⅰ	講義	1-4	2	
	心理学Ⅱ	講義	1-4	2	
	健康科学論Ⅰ	講義	1-4	2	
健康科学論Ⅱ	講義	1-4	2		
教養科目	English Communication 初級Ⅰ	演習	2	1	English Communication 初級Ⅰ・Ⅱの2単位を履修しなければならない。
	English Communication 初級Ⅱ	演習	2	1	
	スポーツ科学Ⅰ	講義	1-4	2	左記体育科目の中から、講義2単位以上、実技1単位以上を履修しなければならない。
	スポーツ科学Ⅱ	講義	1-4	2	
	選択スポーツトレーニング実技Ⅰ	実技	1-4	1	
選択スポーツトレーニング実技Ⅱ	実技	1-4	1		
					86単位以上

(6) 児童福祉司（任用資格）

社会学科を卒業し、厚生労働省令で定める施設において一年以上児童その他の者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行う業務に従事した者に与えられる任用資格です。児童福祉司とは、「児童相談所長の命を受けて、児童の保護その他児童の福祉に関する事項について、相談に応じ、専門的技術に基づいて必要な指導を行う等児童の福祉増進に努める」専門家のことです。

(7) 社会福祉主事（任用資格）

厚生労働大臣の指定する科目のうち3科目を修めて卒業した者に与えられる任用資格です。

社会学科は、社会福祉士受験資格の付与、保育士の資格取得にみられるように、高度な専門性を身につけた社会福祉従事者の養成を教育の柱としています。そのため、課程表には多くの社会福祉関連科目が配置されています。したがって、社会学科で社会福祉主事を取得する場合、厚生労働大臣の指定する3科目（3科目主事という）だけでは、学科の目的や社会のニーズに応えることはできません。この点を理解し、社会福祉主事取得にあたっては、次の通り「社会福祉士指定科目」を履修してください。

社会福祉主事を取得する場合、社会福祉士の基礎科目を中心に履修してください。社会福祉士の基礎科目のうち、社会福祉主事の指定科目とされている科目は、心理学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ、社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ、保育原理Ⅰ・Ⅱ、老人福祉論、介護福祉論、障害者福祉論、地域福祉論Ⅰ・Ⅱ、社会保障論Ⅰ・Ⅱ、公的扶助論、福祉行財政と福祉計画論、ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ、医学一般、法学Ⅰ・Ⅱです。この中から、次のように履修することが望まれます。

必修科目：社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ、老人福祉論、障害者福祉論、地域福祉論Ⅰ・Ⅱの12単位

選択必修科目：心理学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ、保育原理Ⅰ・Ⅱ、介護福祉論、社会保障論Ⅰ・Ⅱ、公的扶助論、福祉行財政と福祉計画論、ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ、医学一般、法学Ⅰ・Ⅱのうち12単位

*なお、基礎科目を履修して卒業すると、卒業後に社会福祉士を取得する場合は、半年の養成機関で（通常は1年間）で受験資格を得ることができます。

履修上の留意点

*Ⅰ・Ⅱと分かれている科目（たとえば社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ）は、 Semester制では2科目となりますが、社会福祉主事の科目としては1科目と数えます。Ⅰ・Ⅱと分かれている科目の履修について

は、通年で（Ⅰ・Ⅱともに）履修してください。

- * 法律上、社会福祉主事は、厚生労働大臣が指定した科目のうち3科目を取得すれば、任用資格が与えられます。したがって、上記の通りに履修しなくても指定科目のうち3科目以上履修していれば、社会福祉主事の任用資格は与えられます。上記の必修科目及び選択必修科目というのは、社会学科が社会福祉従事者の専門養成を行う学科であることを考慮した履修指導であると理解してください。

(8) 国内・総合旅行業務取扱管理者

旅行業法に定められている国家資格で、「国内旅行業務取扱管理者」と「総合旅行業務取扱管理者」資格があり、前者は国内旅行を扱う店舗、後者は国内・海外の両方を取り扱う店舗に必要な資格です。しかし、現実的にはほとんどの旅行会社は国内・海外の両方を扱っていますので、旅行業界を目指す学生達に求められるのは「総合旅行業務取扱管理者」ということになります。国内と総合を計画的に取得することを勧めます。

資格取得のための試験科目をみると、国内は「旅行業法」「旅行業約款」「国内旅行実務」の3科目、総合は前3科目に加えて、「海外旅行実務」です。国際観光学科では、旅行業務取扱管理者資格取得を目指す人のために授業科目として「旅行業務総論」を置くとともに、2年演習の1つのゼミをこの資格の取得を目指す人のゼミとして受験勉強のサポートを行います。なお、課外講座において各受験科目の学習ができるようにしています。

(9) インフィニ検定試験

航空・旅行業界では、GDS（グローバル・ディストリビューション・システム）と呼ばれるチケットやホテルの予約システムが用いられています。インフィニ検定は、GDSの中でも現在、最も普及している「インフィニ」の操作技能の検定試験です。

国際観光学科では、この技能資格に関わる授業科目として「旅行流通システム論」を置いています。資格取得希望者は、まずこの授業を履修し、GDSについてよく理解し、操作に必要な基礎知識を学んだ上で、課外講座を受講してください。

(10) 公益社団法人 日本体育協会「公認スポーツ指導者」

日本体育協会は、国民のスポーツ振興と競技力向上にあたる各種スポーツ指導者の資質と指導力の向上をはかり、指導活動の促進と指導体制を確立、総合型地域スポーツクラブでのスタッフの育成を図るため、「(財)日本体育協会公認スポーツ指導者制度」を制定しています。

将来、スポーツ指導者、総合型地域スポーツクラブでのスタッフ等を目指す学生は、日本体育協会資格一覧の資格を取得することが望まれます。「共通科目Ⅰ・Ⅱ」の修了証は下記の表に示す科目の単位を取得し、申請を行ったものが取得できます。また、「共通科目Ⅰ・Ⅱ」の修了証の申請と同時に、「スポーツリーダー」の資格取得が同時にできます。

No.	科目名	単位数
1	スポーツと文化	2
2	コーチング論	2
3	スポーツと法	2
4	トレーニング論	2
5	発育発達老化の理論・実習	2
6	スポーツ栄養学 I	2
7	スポーツ社会学	2
8	スポーツ外傷・障害と予防	2
9	スポーツ心理学	2
10	スポーツマネジメント論	2

これらの申請は、**卒業年次のみ**にしか受け付けることができません。卒業後の申請は、いかなる理由であれ認められませんので、注意してください。申請には別途申請料を徴収します。

日本体育協会が認定する様々な資格を取得するためには、日本体育協会が開催する講習会等に出席し、各専門科目を取得する必要があります。

資格の詳細は、日本体育協会のホームページで確認してください。

<http://www.japan-sports.or.jp/>

この資格の取得を希望する学生は教務課に相談すること。

日本体育協会資格一覧
スポーツ指導基礎資格

(h=時間)

資格	内容	要件
スポーツリーダー	・地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたる。	共通I

競技別指導者資格

資格	内容	要件
指導員	・地域スポーツクラブ等において、スポーツに初めて出会う子どもたちや初心者を対象に、競技別の専門知識を活かし、個々人の年齢や性別などの対象に合わせた指導にあたる。	共通I 専門:40h以上
上級指導員	・地域スポーツクラブ等において、年齢、競技レベルに応じた指導にあたる。 ・事業計画の立案などクラブ内指導者の中心的な役割を担う。	共通I+II 専門:20h以上
コーチ	・地域において、競技者育成のための指導にあたる。 ・広域スポーツセンターや各競技別のトレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたる。	共通I+II+III 専門:60h以上
上級コーチ	・ナショナルレベルのトレーニング拠点において、各年代で選抜された競技者の育成強化にあたる。	共通I+II+III+IV 専門:40h以上
教師	・商業スポーツ施設等において、競技別の専門的指導者として、質の高い実技指導を行う。	共通I+II+III 専門:80h以上
上級教師	・商業スポーツ施設等において、競技別の専門的指導者として質の高い実技指導を行う。 ・会員（顧客）が満足できるよう、個々人の年齢や性別、技能レベルやニーズなどに合わせたサービスを提供する。	共通I+II+III+IV 専門:60h以上

フィットネス系資格

資格	内容	要件
ジュニアスポーツ指導員	・地域スポーツクラブ等において、幼・少年期の子どもたちに遊びを通じた身体づくり、動きづくりの指導を行う。	共通I 専門:40h
スポーツプログラマー	・主として青年期以降のすべての人に対し、地域スポーツクラブなどにおいて、フィットネスの維持や向上のための指導・助言を行う。	共通I+II 専門:63h

メディカル・コンディショニング系資格

資格	内容	要件
アスレティックトレーナー	・スポーツドクター及びコーチとの緊密な協力のもとに、競技者の健康管理、障害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及びトレーニング、コンディショニング等にあたる。	共通I+II+III 専門:600h
スポーツ栄養士	・スポーツ活動現場において、競技者の栄養・食事に関する専門的なサポートにあたる。 ・競技者の栄養・食事に関する自己管理能力を高める栄養教育を行う。	共通I+II+III 専門:116.5h

マネジメント資格

資格	内容	要件
アシスタントマネジャー	・総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネジャーを補佐し、クラブマネジメントのための諸活動をサポートする。	共通I 専門:35h
クラブマネジャー	・総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブの経営資源を有効に活用し、クラブ会員が継続的に快適なクラブライフを送ることができるよう健全なマネジメントを行う。	共通I 専門:167.5h

(11) ピアヘルパー

NPO 日本教育カウンセラー協会の認定資格であり、教育カウンセラーの基礎となる資格でもあります。ピアは仲間、ピアヘルパーは仲間を助ける人という意味です。友人や知人の相談相手になったり、サークルのまとめ役をしたり、人とかかわるために必要な基本的な力を身につけていることが認定される資格です。学生向けの資格ですので、在学中に受験・取得が可能です。本学は加盟校となっていますので、本学で受験することができます。「臨床心理学概説」、「実践臨床心理学」、「カウンセリング」、「キャリアカウンセリング」、「産業組織心理学」、「対人関係論」の6科目（12単位）の中から3科目（6単位）を取得すれば受験できます（取得見込みでも受験はできます）。

2学年での受験を推奨しています。希望者は心理系の教員に問い合わせてください。

21. 社会福祉士受験資格取得希望者のための履修指導

I 履修の方法

(1) 指定科目の履修

社会福祉士受験資格を得るためには、厚生労働省が指定した次の科目を履修しなければなりません。入学年度によって履修科目が異なりますので、履修登録には十分注意してください。

1) 基礎科目の履修（13科目 30単位：ただし法学Ⅰ・Ⅱ、心理学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱを選択の場合 34単位）

社会調査法、ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ、福祉行財政と福祉計画論、福祉運営管理、社会保障論Ⅰ・Ⅱ、老人福祉論、介護福祉論、障害者福祉論、児童・家庭福祉論、公的扶助論、保健医療（就労支援、法学Ⅰ・Ⅱ、刑法（総論）Ⅰ）のうち1科目2単位（ただし、法学の場合は4単位）（医学一般、心理学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ）のうち1科目2単位（ただし、心理学、社会学の場合は4単位）

2) 基礎科目以外の指定科目の履修（9科目 ~~30~~ 28単位）

社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ、社会福祉援助技術論（基礎理論）Ⅰ・Ⅱ、~~社会福祉技術論（実践応用）Ⅰ・Ⅱ~~、**社会福祉援助技術論（実践応用）Ⅰ・Ⅱ**、地域福祉論Ⅰ・Ⅱ、地域福祉論Ⅰ・Ⅱ、相談援助演習Ⅰ、相談援助演習Ⅱ、相談援助演習Ⅲ、相談援助実習指導、相談援助実習

履修の注意点

- ① 科目のカウントについては、社会福祉原論Ⅰ・Ⅱを1科目として数えています。
- ② 相談援助演習Ⅰ及び相談援助演習Ⅱはそれぞれ2単位、相談援助演習Ⅲは1単位です。
- ③ 相談援助実習指導は、3年生秋学期から4年生全期にかけて履修し、3単位です。相談援助実習は、4単位です。
- ④ それぞれの科目は、配当学年（例えば、社会福祉原論Ⅰ・Ⅱだと、1年生～2年生に履修する）があるので、入学年度の課程表と照らし合わせて計画的に履修してください。

(2) 関連科目の履修

福祉を専攻する学生には次の科目を選択することを奨励します。

地域社会学Ⅰ・Ⅱ、社会心理学、社会統計学、ボランティア活動論及び実習Ⅰ・Ⅱ、臨床心理学概説、実践臨床心理学、カウンセリング

Ⅱ 相談援助実習

(1) 実習の目標

- ① 現場体験を通して相談援助専門職に必要な「専門知識」及び「専門技術」の理解を深めます。
- ② 「専門知識」及び「専門技術」を実際の場で活用し、相談援助専門職の業務に必要な資質・能力・技術を習得します。
- ③ 職業倫理を身につけ、相談援助専門職としての自覚にもとづいた行動ができるようにします。
- ④ 具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化・理論化し体系だてていくことができる能力を涵養します。
- ⑤ 関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を理解します

(2) 相談援助実習の履修要件

- ① 実習の目的を理解し、社会福祉士の受験資格の獲得をめざし、将来社会福祉従事者になる意欲を持っている者。
- ② 社会学科3年生で、社会福祉士指定科目の単位履修が可能な者。
- ③ 指定科目のうち、「社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ」を含む4科目以上を習得し、3学年までの社会学科の必修科目単位を修得している者。
- ④ 「相談援助実習指導」を履修のうえ、法定条件である4/5以上の出席をクリアし、単位習得が可能な者。

(3) 実習単位

実習単位は、相談援助実習が4単位、「相談援助実習指導」が3単位です。4単位の实習は、相談援助実習指導を履修することが必修条件です。また、180時間以上の配属実習、実習総括レポートの提出、「実習指導」の4/5以上の出席が最低のノルマです。

(4) 実習時期及び期間

原則として実習期間は180時間以上で、3～4年次に行います。

(5) 実習対象機関及び施設

以下の施設を実習対象機関・施設とし、それ以外の実習先は現場実習の配属実習としては認めません。

相談援助実習施設及び機関（主な実習先）

根拠法	実習先
児童福祉法	児童相談所、乳児院、母子生活支援施設、児童養護施設、知的障害児施設、知的障害児通園施設、盲ろうあ児施設、肢体不自由児施設、重症心身障害児施設、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設、児童家庭支援センター及び指定医療機関
医療法	病院及び診療所
身体障害者福祉法	身体障害者更生相談所及び身体障害者福祉センター
精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	精神保健福祉センター
生活保護法	救護施設、更生施設、授産施設及び宿泊提供施設
社会福祉法	福祉事務所、市町村社会福祉協議会
売春防止法	婦人相談所、婦人保護施設
知的障害者福祉法	知的障害者更生相談所
障害者の雇用の促進等に関する法律	広域障害者職業センター、地域障害者職業センター及び障害者就業・生活支援センター
老人福祉法	老人デイサービスセンター、老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、老人福祉センター及び老人介護支援センター並びに老人デイサービス事業
母子及び寡婦福祉法	母子福祉センター
更生保護事業法	更生保護施設
介護保険法	介護老人保健施設及び地域包括支援センター並びに居宅サービス事業のうち通所介護、通所リハビリテーション、短期入所生活介護、短期入所療養介護又は特定施設入所生活介護を行う事業、地域密着型サービス事業のうち認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護又は地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護を行う事業、居宅介護支援事業、介護予防サービス事業のうち介護予防通所介護、介護予防通所リハビリテーション、介護予防短期入所生活介護又は介護予防短期入所療養介護を行う事業、地域密着型介護予防サービス事業のうち介護予防認知症対応型通所介護、介護予防小規模多機能型居宅介護又は介護予防認知症対応型共同生活介護を行う事業並びに介護予防支援事業
発達障害者支援法	発達障害者支援センター
障害者総合支援法	障害者支援施設、地域活動支援センター並びに相談支援、事業障害福祉サービス事業のうち療養介護、生活介護、児童デイサービス、短期入所、重度障害者等包括支援、共同生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援及び共同生活援助を行う事業並びに相談支援事業

(6) 実習先の決定

実習生は、上記の機関および施設の中からあらかじめ希望の実習先を選定し、2年生の11月までに実習希望先を定め、相談援助実習申込書を提出してください。場所の選定にあたっては、配属実習の機関・施設に対して教員の巡回指導（原則として週1回）が必要となりますので、実習場所は近県（茨城県、埼玉県、千葉県、東京都）において設定することが望ましいです。

(7) 事前訪問指導

実習先が決定した後、実習生は必ず実習先を訪問し指導を受けなければなりません。

(8) 実習費

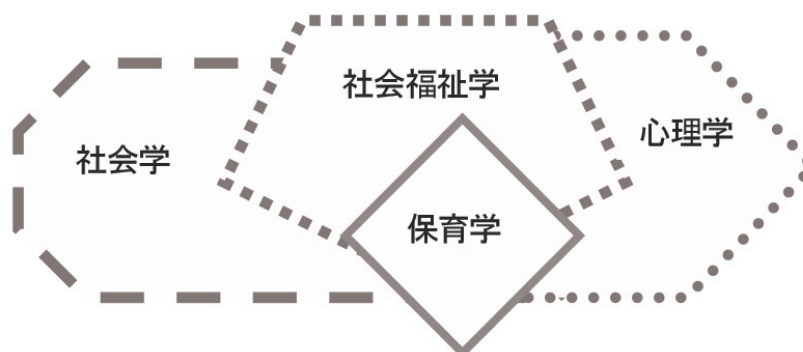
4,000円とします。ただし、実習謝金、交通費、宿泊費、食費など実習にかかわる経費は自己負担とします。

22. 履修モデル

(1) 社会学科の履修モデル

－「社会学」、「心理学」、「社会福祉学」、「保育学」を核とした履修モデル－

社会学科を作り上げている「社会学」「心理学」「社会福祉学」「保育学」の関係は、下の図のようなものかもしれません。それぞれは、独立した学問として固有の関心やテーマをもっていますが、その領域はお互いに重なり合っていて、中間には多様な組み合わせがあります。



2年生になると、「社会学」「心理学」「社会福祉学」「保育学」の4つの分野を中心に、いよいよ本格的な専門教育が始まります。みなさんは、自分の進路や目標、興味にあわせて科目を選んでいくことになります。以下に、科目の選び方の例を紹介した履修モデルを紹介します。これらのほかにも科目の選び方はたくさんありますから、シラバス（授業の紹介）を読んだり本を読んだりして情報を集め、科目を選んでいきましょう。

【社会学を中心とした履修モデル】

- ① 社会学を専門的に研究する
- ② 社会学を中心に心理学も研究する
- ③ 社会学を中心に社会福祉のことも研究する

【心理学を中心とした履修モデル】

- ④ 心理学を勉強したいキャンパス別パターン
- ⑤ 心理学を勉強したいキャンパス別パターン

【社会福祉学を中心とした履修モデル】

- ⑥ 市役所や県庁また社会福祉協議会に勤務し、福祉行政や地域福祉の仕事をしたい（社会福祉を中心に社会学を勉強したい）
- ⑦ 病院や社会福祉施設で相談業務の仕事をしたい（社会福祉を中心に心理学を勉強したい）

【保育学を中心とした履修モデル】

- ⑧ 保育士になりたい（保育士の資格をとりたい）

1) 社会学を中心とした履修モデル

1・2年は研究テーマ、問題発見とデータ収集の方法の学習の時期、3年は自分の研究テーマに従って理解を深めるための調査データを収集する時期、4年は研究の成果を卒業論文や報告書、プレゼンを通して発表する時期ということができます。

社会学を中心に学ぶには、選択必修科目の社会学科目からたくさんの科目を履修することになりますが、社会学はとても広い研究領域を持っていますので各自がどのような興味関心を持っているか、4年間でどのようなことを研究するか見つけることが大切です。言い換えれば、1・2年生は研究テーマや問題意識の発見の時期といえることができます。

教養科目

教養科目には5領域があります。①「人文」領域には哲学・社会倫理学・宗教学・現代文章論などがあり、人間や社会、世界を考える基本となります。②「地域」領域には、日本や外国の文学・歴史学・文化論、イスラム学などがあり、世界観や歴史観の基礎を学ぶことができます。③「社会」領域には、法学や経済学・社会学・教育学・現代女性論・社会環境論があり社会学的な研究の基礎となる知識が得られます。④「自然」領域には数学・地球科学・生命科学・生態学・自然地理学・自然環境論などがあり、人間や社会の基礎である自然環境的な側面の知識を学ぶことができます。⑤「スポーツ・健康」領域には、スポーツ科学・健康科学論・生涯スポーツの理論と実技などスポーツや健康の基礎が講義されており、スポーツ立国の現代社会を考えるスタートになるでしょう。これら5領域の諸科目は、一見社会学研究とは無縁のように見えますが、どの領域も人間や社会を研究する社会学と強い関係を持っています。

教養科目は1・2年で履修しますのでその後の大学生活でどのような研究をするかのテーマ探しにも役立てることができます。また、大学での研究ばかりでなくその後の長い人生においても役立つ基本的な知識になりますので、なるべく幅広く履修することを勧めます。

社会学科において研究をすすめるためにはそのための方法、つまり研究に必要なデータ収集の方法や技術を学ぶことが大切です。1年で専門共通の「方法論概説」、専門基礎の「社会調査法」「社会調査実践法」、2年以降「計量社会学」「社会統計学」「社会データ解析」「質的調査法」、3年で「社会調査実習」を履修できます。一連の社会調査法に関するこれらの科目は、いわば新たな「知見」を獲得する技術であり、問題解決能力の向上にも資するといえます。こうした研究方法の技術を磨きながら各自の具体的な研究テーマに取り組んでいきましょう。

① 社会学を専門に研究する

社会学の研究対象はさまざまな社会現象や国内外の経済、社会、文化など幅広くありますので、広い学びを通して大学生活で行う研究テーマを絞り込んでいくのが大切です。大学では、各自関心を持った研究テーマ、問題を研究していくことになるのです。社会学科では、主に次のような4分野にかかわるさまざまな問題を研究することができます。もちろんこれ以外にも研究課題はたくさんあります。

○産業・経済などの分野に関する社会学

現代の日本や世界の産業や経済に関する分野の科目には、「経済社会学」「社会階層論」「産業・労働社会学」「就職の社会学」などがあります。

○地域の分野に関する社会学

地域の活性化や地域創生に関する分野には、「地域社会学」「地域づくりの社会学」「市民社会政策論」「地域福祉論」があります。

○グローバルな社会や文化などの分野に関する社会学

国際的なグローバル化に関する分野には、「国際社会学」「開発社会学」「グローバル化と文化」「文化人類学」などがあります。

○社会のさまざまな領域や問題に関する社会学

現代社会の様々な現象や問題に関する分野の科目には、「マス・コミュニケーション論」「教育社会学」「家族社会学」「社会病理学」「ジェンダー論」「法社会学」「社会システム論」「防災社会論」などがあり、多方面からの研究ができます。

② 社会学を中心に心理学も研究する

社会学を中心に心理学にも関心のある学生は、「心理学概論Ⅰ・Ⅱ」を履修してください。その上で各自の関心領域に関連する科目を履修することができます。例えば、社会学系で産業・経済に関心があれば、「社会心理学」「消費者行動論Ⅰ・Ⅱ」「産業組織心理学」などがあります。さまざまな社会学分野のうち「教育社会学」に関心のある学生は、「学習心理学」「発達心理学」「児童心理学」「学校心理学」「カウンセリング」などが役に立ちます。家族社会学に関心があれば、「家族心理学」「親子関係の心理」など学ぶことができます。

③ 社会学を中心に社会福祉・保育学も研究する

社会学を中心に社会福祉学にも関心のある学生は「社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ」を履修し、各自の関心療育にかかわる科目を履修することができます。社会学の産業・経済領域に関心があるなら「就労支援」「公的扶助論」「社会保障論Ⅰ・Ⅱ」「福祉運営管理」などが有用でしょう。教育社会学・家族社会学や児童の問題に関心があれば、「児童・家庭福祉論」「障害者福祉論」があります。

地域社会や地域福祉や教育社会学、家族社会学に関心がある学生は、保育科目の「保育原理Ⅰ・Ⅱ」や「家庭支援論」などで視野を広めることができます。

社会学系の教員（50音順）

恩田守雄（経済社会学、開発社会学、市民社会政策論、地域づくりの社会学）

沢谷 豊（社会システム論）

都築一治（社会階層論、計量経済学、社会統計学、社会データ解析、社会調査実習）

津村 修（産業・労働社会学、就職の社会学、社会調査実習）

~~根橋正一（国際社会学、地域社会学、社会調査実習）~~

~~八田正信（マス・コミュニケーション論、社会調査法、社会調査実践法、社会調査実習）~~

桜井淳平（教育社会学、社会調査実習）

西田善行（マス・コミュニケーション論、社会調査実習）

① 社会学を専門的に勉強したい！

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年
必修科目	1 年演習 情報リテラシー演習 I 社会学概論 方法論概説	2 年演習 リベラルアーツ演習	3 年演習	4 年演習卒業論文
外国語科目	Comprehensive English 初級 I・II Introduction to TOEIC I・II	English Communication 初級 I・II		
キャリア科目	RKU 入門 キャリアデザイン キャリア基礎 (言語) キャリア基礎 (計算)	キャリアマネジメント インターンシップ (準備)	インターンシップ (報告)	
一般教養科目	哲学 I・II 法学 I・II 歴史学入門 (日本史) I・II 自然環境論 I・II 現代文章論 I・II	宗教学 I・II 民俗学 I・II 教育学 I・II 生態学 I・II 人文地理学 I・II	日本文化論 I・II イスラム学 I・II 健康科学論 I・II 生命科学 I・II 自然地理学 I・II	論理学 I・II 数学 I・II 文学関連科目 I・II 歴史学関連科目 I・II
専門基礎科目	社会調査法 社会調査実践法 心理学概論 I・II 社会福祉原論 I・II 保育原理 I・II	マス・コミュニケーション論 地域社会学 経済社会学 社会階層論 産業・労働社会学	社会システム論	
		社会統計学 社会データ解析	計量社会学 質的調査法 社会調査実習	
		家族社会学 教育社会学 文化人類学 地域社会論 地域づくりの社会学 現代組織論 国際社会学 社会病理学 就職の社会学	ジェンダー論 法社会学 グローバル化と文化 市民社会政策論 アジア社会論 防災社会学 余暇社会学 開発社会学 地域福祉論	

* 社会調査実習は選択の社会調査士科目の枠の中にあります

太字：履修しなければならない科目 斜体：履修が勧められる科目

② 社会学を中心に心理学も勉強したい！

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年
必修科目	1 年演習 情報リテラシー演習 I 社会学概論 方法論概説	2 年演習 リベラルアーツ演習	3 年演習	4 年演習卒業論文
外国語科目	Comprehensive English 初級 I・II Introduction to TOEIC I・II	English Communication 初級 I・II		
キャリア科目	<i>RKU 入門</i> キャリアデザイン キャリア基礎 (言語) キャリア基礎 (計算)	インターンシップ (準備)	インターンシップ (報告)	
一般教養科目	<i>哲学 I・II</i> <i>法学 I・II</i> 歴史学入門 (日本史) I・II <i>自然環境論 I・II</i> <i>現代文章論 I・II</i>	宗教学 I・II <i>民俗学 I・II</i> <i>教育学 I・II</i> 生態学 I・II 人文地理学 I・II	日本文化論 I・II イスラム学 I・II <i>健康科学論 I・II</i> <i>生命科学 I・II</i> 自然地理学 I・II	論理学 I・II 数学 I・II 文学関連科目 I・II 歴史学関連科目 I・II
専門基礎科目	社会調査法 社会調査実践法 <i>心理学概論 I・II</i> <i>社会福祉原論 I・II</i> <i>保育原理 I・II</i>	地域社会学 経済社会学 社会階層論 産業・労働社会学 マス・コミュニケーション論	社会システム論	
		<i>計量社会学</i> <i>社会統計学</i> <i>社会データ解析</i>	<i>質的調査法</i> 社会調査実習	
		家族社会学 教育社会学 文化人類学 地域社会論 地域づくりの社会学 現代組織論 国際社会学 社会病理学 開発社会学	ジェンダー論 法社会学 グローバル化と文化 市民社会政策論 アジア社会論 防災社会学 余暇社会学	
		<i>発達心理学</i> <i>児童心理学</i> <i>学習心理学</i> <i>行動分析学</i> <i>産業組織心理学</i> <i>臨床心理学概説</i> <i>実践臨床心理学</i>	<i>親子関係の心理</i> <i>学校心理学</i> <i>対人関係論</i> <i>社会心理学</i> <i>適応の心理</i> <i>性格心理学</i> <i>カウンセリング</i>	
認定心理士関連科目		心理学研究法 I・II <i>認知心理学</i> <i>知覚心理学</i> <i>家族心理学</i>	<i>健康心理学</i>	

太字：履修しなければならない科目 斜体：履修が勧められる科目

③ 社会学を中心に社会福祉のことも勉強したい！

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年
必修科目	1 年演習 情報リテラシー演習 I 社会学概論 方法論概説	2 年演習 リベラルアーツ演習	3 年演習	4 年演習 卒業論文
外国語科目	Comprehensive English 初級 I・II Introduction to TOEIC I・II	English Communication 初級 I・II		
キャリア科目	RKU 入門 キャリアデザイン キャリア基礎 (言語) キャリア基礎 (計算)	キャリアマネジメント インターンシップ (準備)	キャリアカウンセリング インターンシップ (報告)	
一般教養科目	哲学 I・II 法学 I・II 歴史学入門 (日本史) I・II 自然環境論 I・II 現代文章論 I・II	宗教学 I・II 民俗学 I・II 教育学 I・II 生態学 I・II 人文地理学 I・II	日本文化論 I・II イスラム学 I・II 健康科学論 I・II 生命科学 I・II 自然地理学 I・II	論理学 I・II 数学 I・II 文学関連科目 I・II 歴史学関連科目 I・II
専門基礎科目	社会調査法 社会調査実践法 心理学概論 I・II 社会福祉原論 I・II 保育原理 I・II	地域社会学 経済社会学 社会階層論 産業・労働社会学	マス・コミュニケーション論 社会システム論	
		社会統計学 社会データ解析	計量社会学 質的調査法 社会調査実習	
		家族社会学 教育社会学 文化人類学 地域空間論 現代組織論 国際社会学 社会病理学 地域づくりの社会学	ジェンダー論 法社会学 グローバル化と文化 社会システム論 市民社会政策論 アジア社会論 防災社会論 余暇社会学 開発社会学	
		老人福祉論 障害者福祉論 児童・家庭福祉論 社会保障論 I・II	介護福祉論 公的扶助論 地域福祉論 I・II	
学科共通科目 ほか	日本経済史 I・II 経済地理学 I・II 統計学概論 I・II	日本経済論 I・II 経済発展論 I・II	公共経済学 I・II 産業組織論 I・II	

太字：履修しなければならない科目 斜体：履修が勧められる科目

2) 心理学を中心とした履修モデル

心理学に興味がある人は、まず、心理学概論Ⅰ・Ⅱで心理学にはどのような分野があるのかを把握しましょう。本格的に勉強したい（認定心理士の資格を取得したい、大学院に進学したい）人は、基礎をしっかり固めてから、自分の興味・関心に応じて心理系の専門基礎科目を選び、さらに認定心理士科目を履修しましょう。何となく心理っぽい話に興味があるという人は、シラバス（授業の紹介）を読んで「これだ！」と思う科目を選んで履修すればよいでしょう。

○ 認定心理士

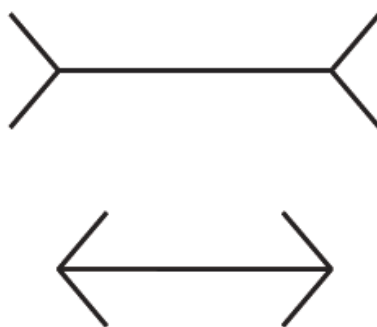
認定心理士の資格を取得するには、決められた科目の中から条件を満たすように履修する必要があります。心理学概論Ⅰ・Ⅱ（各2単位）、心理学研究法Ⅰ・Ⅱ（各2単位）、心理学基礎実験Ⅰ・Ⅱ（各2単位）の12単位は基礎科目として必ず取らなければなりません。それ以外の科目は、専門基礎科目と認定心理士科目の中から、分野ごとのバランスを考えながら自分の興味・関心に応じて取っていきます。卒業後に申請手続きをして認められれば、資格が取得できます（手続きに費用がかかります）。

○ ピアヘルパー

NPO 日本教育カウンセラー協会の認定資格です。学生向けの資格ですから、在学中でも受験・取得が可能です。本学は加盟校となっていますので、本学で受験することができます。決められた講義・演習の中から6単位を取得すれば受験できますから、ステップアップのためにチャレンジするとよいでしょう。

ピアヘルパーとは（協会 HP <http://www.jeca.gr.jp/peer/peer.htm> より抜粋）

“Peer”は「仲間」、「Helper」はもちろん「助ける人」。ですから、ピアヘルパーは直訳すれば仲間を助ける人という意味です。青年や学生なら誰でも遭遇する問題の相談相手になる、あるいはピアグループ（たとえば各種サークルなど）の世話役をつとめるのがピアヘルパーの活動許容範囲です。



心理学系の教員（50音順）

高口 央（対人関係論、社会心理学、心理学概論）

佐藤尚人（臨床心理学概説、実践臨床心理学、カウンセリング）

中村美枝子（産業組織心理学、心理学研究法、心理学基礎実験Ⅰ・Ⅱ）

山岸直基（学習心理学、行動分析学、知覚心理学、心理学基礎実験Ⅰ・Ⅱ）

④ 心理学を勉強したい（できれば認定心理士の資格も取りたい！）キャンパス別パターン1

	1年生	2年生	3年生	4年生
必修科目	1年演習	2年演習	3年演習	4年演習
	情報リテラシー演習 I	リベラルアーツ演習		卒業論文
	社会学概論 方法論概説			
外国語科目	Comprehensive English 初級 I・II Introduction to TOEIC I・II	English Communication 初級 I・II		
キャリア科目	RKU 入門 キャリアデザイン キャリア基礎（言語） キャリア基礎（計算）	キャリアマネジメント インターンシップ（準備）	キャリアカウンセリング インターンシップ（報告）	
教養基礎科目	心理学 I・II 社会学 I・II 関連科目 I・II	現代文章論 I・II 宗教学 I・II 関連科目 I・II	関連科目 I・II 関連科目 I・II 関連科目 I・II	関連科目 I・II 関連科目 I・II
専門基礎科目	社会調査法 社会調査実践法 心理学概論 I・II	臨床心理学概説 実践臨床心理学 産業組織心理学 学校心理学 親子関係の心理 発達心理学 児童心理学	学習心理学 行動分析学 対人関係論 社会心理学 カウンセリング 性格心理学 適応の心理	関連科目 I・II 関連科目 I・II 関連科目 I・II
		計量社会学 社会統計学 就職の社会学 地域社会学 経済社会学 産業・労働社会学 現代組織論 国際社会学 家族社会学	質的調査法 マス・コミュニケーション論 社会階層論 社会システム論 地域づくりの社会学 市民社会政策論 社会病理学 ジェンダー論	
認定心理士関連科目		心理学研究法 I・II 認知心理学 知覚心理学	心理学基礎実験 I・II 消費者行動論 I・II 家族心理学 健康心理学	
学科共通科目			人的資源管理論 I・II スポーツマネジメント論 スポーツ心理学	マーケティング論 I・II コーチング論

※ 各科目の履修にあたっては、履修要綱記載の社会学科履修モデルを参考として下さい。ただし、本学が2キャンパス制であるため、科目によっては隔年開講となっているものがあります。このため、所属キャンパスに合わせて無理なく4年間で希望する心理系科目が履修できるようこのキャンパス別パターン1、及び2も参考にしてください。

⑤ 心理学を勉強したい（できれば認定心理士の資格も取りたい！）キャンパス別パターン2

	1年生	2年生	3年生	4年生
必修科目	1年演習	2年演習	3年演習	4年演習
	情報リテラシー演習 I	リベラルアーツ演習		卒業論文
	社会学概論 方法論概説			
外国語科目	Comprehensive English 初級 I・II Introduction to TOEIC I・II	English Communication 初級 I・II		
キャリア科目	RKU 入門 キャリアデザイン キャリア基礎（言語） キャリア基礎（計算）	キャリアマネジメント インターンシップ（準備）	キャリアカウンセリング インターンシップ（報告）	
教養基礎科目	心理学 I・II 社会学 I・II 関連科目 I・II	現代文章論 I・II 宗教学 I・II 関連科目 I・II	関連科目 I・II 関連科目 I・II 関連科目 I・II	関連科目 I・II 関連科目 I・II
専門基礎科目	社会調査法 社会調査実践法 心理学概論 I・II	学習心理学 行動分析学 対人関係論 社会心理学 カウンセリング 性格心理学 適応の心理	臨床心理学概説 実践臨床心理学 産業組織心理学 学校心理学 親子関係の心理 発達心理学 児童心理学	関連科目 I・II 関連科目 I・II 関連科目 I・II
		計量社会学 社会統計学 就職の社会学 地域社会学 経済社会学 産業・労働社会学 現代組織論 国際社会学 家族社会学	質的調査法 マス・コミュニケーション論 社会階層論 社会システム論 地域づくりの社会学 市民社会政策論 社会病理学 ジェンダー論	
認定心理士関連科目		心理学研究法 I・II 消費者行動論 I・II 家族心理学 健康心理学	心理学基礎実験 I・II 認知心理学 知覚心理学	
学科共通科目			人的資源管理論 I・II スポーツマネジメント論 スポーツ心理学	マーケティング論 I・II コーチング論

3) 社会福祉学を中心とした履修モデル

社会福祉学は、おおむね二つの性格がある学問です。その一つは、「応用科学」、すなわち色々な学問をベースに成り立っている学問であるということでしょう。ですから、社会福祉学を修得するためには、他の先行する学問である「社会学」や「心理学」、「経済学」等を基礎として学ぶことが必要です。また、二つ目には、「実践科学」ということが挙げられるでしょう。社会福祉学を修得するだけでなく、その知識を社会や人のために役立てることが必要とされる学問です。これは、医学や保健学などと同様に、他の学問よりも強く社会福祉学に要請されているものです。

さて、みなさんが本学社会学科で社会福祉学を学ぶ場合、幸いにも社会福祉学の源流である「社会学」や「心理学」を基盤に学習できる環境が整っています。社会福祉学は、ここ100年弱の歴史しかありませんが、二つのことに注目して発展してきたといってもいいでしょう。一つは、どうすれば「社会全体が幸せになれるか」ということでした。しかし、「社会全体の幸せ」を考える場合、「社会とは何か」の解明なしにその方向性を見出すことはできません。ですから、社会福祉学はどうしても「社会学」や「経済学」から学ばなければなりません。もう一つの注目点は、個人の人生を支援することです。人は、人生を歩む際に生きにくくなることがあります。たとえ、それが社会の仕組みに起因していても、「今・ここで」起きている問題を解決し、人は希望をもって「明日に向かって」歩んでいかなければなりません。人びとにふりかかるこうした問題に個人の生活レベルで援助し支援するために、社会福祉学は「心理学」から大いに学び、「ソーシャルワーク」として集大成してきました。

ソーシャル・ケースワーク（個別援助技術）の祖であるリッチモンドという人は、前者の視点に立った援助を「卸売的方法」（社会改良）と呼び、後者の方法を「小売的方法」（ケースワーク）と名づけて、社会改良と個別援助の重要性を指摘しました。その意味で、社会福祉学を学ぶ意義は、社会の仕組みや働きを知り住みよい社会づくりを目指すことであり、さらに個人のより良い人生を支援することにあるといえるでしょう。

社会福祉を学ぶにあたっては、学科に用意された「社会学」及び「心理学」関連科目の両方を学習することが必要ですが、将来の進路に応じてどちらかを重点的に学習しておくことも大切です。一応、これは履修のモデルなので必ずこの通りに履修しなければならないということはありません。あくまで、今後の道案内として履修の参考にしてください。

4) 保育学を中心とした履修モデル

保育学では主に小学校に入る前の子どもや周囲の人々・環境について学びます。子どものことだけでなく、保護者の子育て支援や子どもに関わる地域のことについても学ぶのです。ですから、保育学は教育学、社会福祉学、心理学、社会学と深く関係しています。

社会学科には保育士養成コースがあり、入学時に保育士養成コースを希望した学生は、保育園や児童福祉施設などで働く際に必要とされる資格、「保育士」の取得をめざすことができます。そのためには、①年度の初めにあらためて資格取得の意思を明らかにして、届けを出しましょう。②卒業までに必要な科目を履修して単位をとりましょう。講義科目のほかに、ピアノなどの実技科目や、保育所や児童福祉施設での実習など決められた単位をすべてとることができれば、卒業と同時に保育士資格を得ることができます。また、保育士資格と同時に社会福祉主事の資格も同時に取得しておきましょう。

そうすれば、将来保育士の経験を積んで、保育者として指導的な役割を果たすことができます。

卒業するために必要な単位のほかに必修科目（必ずとらなければならない科目）が少なからずありますので、途中から保育士養成コースに入ることはできません。しかし、万一資格取得をあきらめる場合でも卒業することはできますが、その場合は早急に届けを出してください。なお、保育表現技術の体育・音楽・造形など授業の一部は、龍ヶ崎キャンパスのみで行います。

社会福祉・保育系の教員（50音順）

大橋純一（地域福祉論、福祉行財政と福祉計画論、社会調査実習）

~~川崎愛（社会的養護、家庭支援論、保健医療、保育実習Ⅱ）~~

下司優里（障害者福祉論、障害児保育、福祉運営管理、相談援助演習・実習）

佐藤克繁（社会福祉原論、ソーシャルワーク論、相談援助演習・実習）

村田典子（児童・家庭福祉論、社会福祉援助技術論（基礎理論）、相談援助演習・実習）

米原立将（保育原理、保育内容総論、保育実習Ⅰ）

⑥ 市役所や県庁また社会福祉協議会に勤務し、福祉行政や地域福祉の仕事をしたい！
 —社会福祉を中心に社会学を勉強するモデル—

	1年生	2年生	3年生	4年生
必修科目	1年演習	2年演習	3年演習	4年演習
	情報リテラシー演習Ⅰ	リベラルアーツ演習		卒業論文
	社会学概論 方法論概説			
外国語科目	Comprehensive English 初級Ⅰ・Ⅱ Introduction to TOEIC Ⅰ・Ⅱ	English Communication 初級Ⅰ・Ⅱ		
キャリア科目	RKU 入門 キャリアデザイン キャリア基礎（言語） キャリア基礎（計算）	キャリアマネジメント インターンシップ（準備）	キャリアカウンセリング インターンシップ（報告）	
教養基礎科目	*心理学Ⅰ・Ⅱ *社会学Ⅰ・Ⅱ 関連科目Ⅰ・Ⅱ	宗教学Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ 関連科目Ⅰ・Ⅱ *法学Ⅰ・Ⅱ		
専門基礎科目	社会学概論 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 社会調査法 社会調査実践法	老人福祉論 児童・家庭福祉論 障害者福祉論 社会病理学 家族社会学 地域社会学 教育社会学 社会的養護 家庭支援論 経済社会学 社会階層論 産業・労働社会学 計量社会学 質的調査法 社会統計学 社会データ解析	福祉運営管理 就労支援 保健医療 公的扶助論 福祉行財政と福祉計画論 介護福祉論 社会保障論Ⅰ・Ⅱ 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 防災社会論 市民社会政策論 カウンセリング 現代組織論 社会的養護内容 乳児保育 マス・コミュニケーション論 社会システム論 就職の社会学	関連科目
社会福祉士関連科目		ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ 社会福祉援助技術論（基礎理論）Ⅰ・Ⅱ 社会福祉援助技術論（実践応用）Ⅰ・Ⅱ 医学一般		
		相談援助演習Ⅰ	相談援助演習Ⅱ 相談援助実習指導	相談援助演習Ⅲ 相談援助実習指導 相談援助実習
学科共通科目		*刑法（総論）Ⅰ		

* 教養基礎科目の「法学Ⅰ・Ⅱ」「社会学Ⅰ・Ⅱ」「心理学Ⅰ・Ⅱ」と学科共通科目の「刑法（総論）Ⅰ」は社会福祉士指定科目です。

⑦ 病院や社会福祉施設で相談業務の仕事をしたい！

一 社会福祉を中心に心理学を勉強するモデル一

	1年生	2年生	3年生	4年生
必修科目	1年演習	2年演習	3年演習	4年演習
	情報リテラシー演習Ⅰ	リベラルアーツ演習		卒業論文
	社会学概論 方法論概説			
外国語科目	Comprehensive English 初級Ⅰ・Ⅱ Introduction to TOEIC Ⅰ・Ⅱ	English Communication 初級Ⅰ・Ⅱ		
キャリア科目	RKU 入門 キャリアデザイン キャリア基礎（言語） キャリア基礎（計算）	キャリアマネジメント インターンシップ（準備）	キャリアカウンセリング インターンシップ（報告）	
教養基礎科目	*心理学Ⅰ・Ⅱ *社会学Ⅰ・Ⅱ 関連科目Ⅰ・Ⅱ	宗教学Ⅰ・Ⅱ 民族学Ⅰ・Ⅱ *法学Ⅰ・Ⅱ 関連科目Ⅰ・Ⅱ		
専門基礎科目	心理学概論Ⅰ・Ⅱ 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ	老人福祉論 児童・家庭福祉論 障害者福祉論 臨床心理学概説 学習心理学 行動分析学 適応の心理学 性格心理学 社会心理学 対人関係論 実践臨床心理学 社会病理学 社会的養護 家庭支援論 地域社会学 社会階層論 産業・労働社会学 計量社会学 質的調査法 社会統計学 社会データ解析	福祉運営管理 就労支援 保健医療 公的扶助論 福祉行財政と福祉計画論 介護福祉論 社会保障論Ⅰ・Ⅱ 地域福祉論Ⅰ・Ⅱ カウンセリング 発達心理学 教育心理学 産業組織心理学 社会的養護内容 経済社会学 社会階層論 マス・コミュニケーション論 社会システム論 就職の社会学	関連科目
社会福祉士関連科目		ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ 社会福祉援助技術論（基礎理論）Ⅰ・Ⅱ 社会福祉援助技術論（実践応用）Ⅰ・Ⅱ 医学一般 社会保障法Ⅰ・Ⅱ 社会福祉法概論Ⅰ・Ⅱ		
		相談援助演習Ⅰ	相談援助演習Ⅱ 相談援助実習指導	相談援助演習Ⅲ 相談援助実習指導 相談援助実習
学科共通科目		*刑法（総論）Ⅰ		

* 教養基礎科目の「法学Ⅰ・Ⅱ」「社会学Ⅰ・Ⅱ」「心理学Ⅰ・Ⅱ」と学科共通科目の「刑法（総論）Ⅰ」は社会福祉士指定科目です。

⑧ 保育士になりたい！

	1年生	2年生	3年生	4年生
必修科目	1年演習	2年演習	3年演習	4年演習
	情報リテラシー演習 I	リベラルアーツ演習		卒業論文
	社会学概論 方法論概説			
外国語科目	Comprehensive English 初級 I・II Introduction to TOEIO I・II	English Communication 初級 I・II		
キャリア科目	RKU 入門 キャリアデザイン キャリア基礎 (言語) キャリア基礎 (計算)	キャリアマネジメント	キャリアカウンセリング	
教養基礎科目	法学 I・II その他関連科目 I・II			
保育士科目 (必修)	社会福祉原論 I 保育原理 I・II 保育表現技術 (体育) I 保育表現技術 (音楽) I・II 保育表現技術 (造形) I *教育原理 *選択スポーツトレーニング 実技 I もしくは II *スポーツ科学 I もしくは II 社会的養護	子どもの保健 I・II 子どもの保健演習 子どもの食と栄養 家庭支援論 保育内容総論 保育内容演習 (健康) 保育内容演習 (人間関係) 保育内容演習 (環境) 保育内容演習 (言葉) 保育内容演習 (表現) 相談援助演習 I 社会的養護内容 *保育実習事前指導 保育の心理学 I・II 障害児保育	保育相談支援 保育課程論 乳児保育 *保育実習 I *保育実習 II *保育実習指導 I *保育実習指導 II 児童・家庭福祉論	保育実践演習 *保育実習 III もしくは IV *保育実習指導 III・IV
保育士科目 (選択必修)	健康科学論 I・II ○心理学 I・II ○社会学 I・II 憲法 I・II	保育表現技術 II (体育) 保育表現技術 III (音楽) 保育表現技術 II (造形) 社会福祉援助技術論 (基礎理論) I・II 地域福祉論 I・II 障害者福祉論 学習心理学 性格心理学 カウンセリング 行動分析学 適応の心理 家族社会学 親子関係の心理 学校の心理		

*印の科目は、社会学科の課程表上は選択科目群です。保育士資格を取得するためには必修科目となっています。
○は教養基礎科目であり、社会福祉主事科目です。

5) 資格取得のための科目履修

専門科目の学習の中心は2年生からですが、それぞれの学問に関わる資格を取得するには2年生からでは遅いものもあります。4つの核となる学問に関わる代表的な資格としては、

「社会学」：社会調査士

「心理学」：ピアヘルパー、認定心理士

「社会福祉学」：社会福祉士

「保育学」：保育士

などがあります。これらの資格を取得するには、1年生からの計画的な履修が必要です。

資格については、「20.資格の取得」を読んでください。

(2) 国際観光学科履修モデル

○国際文化モデル

		1年生	2年生	3年生	4年生
基本科目		1年演習	2年演習	3年演習	4年演習
		情報リテラシー演習Ⅰ			卒業論文
		情報リテラシー演習Ⅱ			
外国語科目	外国語	Comprehensive English 初級Ⅰ・Ⅱ	English Communication 初級Ⅰ・Ⅱ		
		Introduction to TOEIC Ⅰ・Ⅱ			
		初級外国語Ⅰ・Ⅱ			
	観光英語	観光英語Ⅰ・Ⅱ	観光英語Ⅲ・Ⅳ	観光英語Ⅴ・Ⅵ	
教養科目	教養共通		リベラルアーツ演習		
	教養基礎	宗教学Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(日本史)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(東洋史)Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門(西洋史)Ⅰ・Ⅱ 外国文化論(アジア) 外国文化論(西欧) イスラム学Ⅰ・Ⅱ その他関連科目			
キャリア科目	キャリア形成他	RKU 入門 キャリアデザイン キャリア基礎(言語)(計算)	観光キャリアケーススタディ キャリアマネジメント インターンシップ(準備) キャリア基礎(文章)(推理)	インターンシップ(報告) 職業選択論	
専門必修科目	学科基礎	観光概論 社会学概論			
専門選択必修科目	専門研究基礎		観光社会学 観光人類学 観光心理学 社会調査法		
	専門基礎(基礎共通)	観光地理(国内・基礎) 観光地理(海外・基礎)	社会調査実践法 社会統計学 質的調査法 日本文化史		
	専門基礎(国際文化)		異文化間コミュニケーション論 文化人類学 国際社会学 経済社会学 開発社会学 観光地理(海外・発展) ヨーロッパ文化論		
	専門発展		プロジェクト学習Ⅰ・Ⅱ プロジェクト学習Ⅲ・Ⅳ	テーマツアーリズム特講 プロジェクト学習Ⅴ・Ⅵ グローバル化と文化 アジア社会論 国際関係論Ⅰ・Ⅱ	
専門選択科目	観光関連科目				経済地理学Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ 国際法Ⅰ・Ⅱ他

○観光産業モデル

		1年生	2年生	3年生	4年生
基本科目		1年演習	2年演習	3年演習	4年演習
		情報リテラシー演習Ⅰ			卒業論文
		情報リテラシー演習Ⅱ			
外国語科目	外国語	Comprehensive English 初級Ⅰ・Ⅱ	English Communication 初級Ⅰ・Ⅱ		
		Introduction to TOEIC Ⅰ・Ⅱ			
		初級外国語Ⅰ・Ⅱ			
	観光英語	観光英語Ⅰ・Ⅱ	観光英語Ⅲ・Ⅳ	観光英語Ⅴ・Ⅵ	
教養科目	教養共通		リベラルアーツ演習		
	教養基礎	哲学Ⅰ・Ⅱ 現代文章論Ⅰ・Ⅱ 日本文化論Ⅰ・Ⅱ 憲法Ⅰ・Ⅱ 法学Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ 経済学Ⅰ・Ⅱ その他関連科目			
キャリア科目	キャリア形成他	RKU 入門 キャリアデザイン キャリア基礎 (言語) (計算)	観光キャリアケーススタディ キャリアマネジメント インターンシップ (準備) キャリア基礎 (文章) (推理)	インターンシップ (報告) 職業選択論	
専門必修科目	学科基礎	観光概論 社会学概論			
専門選択必修科目	専門研究基礎		観光社会学 観光人類学 観光心理学 社会調査法		
	専門基礎 (基礎共通)		社会調査実践法 社会統計学 計量社会学		
	専門基礎 (観光産業)	旅行業務総論 旅行流通システム論	観光産業論 観光教育論 対人関係論 産業組織心理学 産業・労働社会学 ホスピタリティ論及び実践 ホテルマネジメント論 経営学総論Ⅰ・Ⅱ		
	専門発展		プロジェクト学習Ⅰ・Ⅱ プロジェクト学習Ⅲ・Ⅳ	プロジェクト学習Ⅴ・Ⅵ 交通サービス論Ⅰ・Ⅱ 旅行産業論Ⅰ・Ⅱ リゾートマネジメント論	
専門選択科目	観光関連科目				心理学概論Ⅰ・Ⅱ 社会福祉原論Ⅰ・Ⅱ 消費者行動論Ⅰ・Ⅱ 日本経済論Ⅰ・Ⅱ 情報経済論Ⅰ・Ⅱ 交通論Ⅰ・Ⅱ 人的資源管理論Ⅰ・Ⅱ 会計学Ⅰ・Ⅱ他

○地域イノベーションモデル

		1年生	2年生	3年生	4年生
基本科目		1年演習	2年演習	3年演習	4年演習
		情報リテラシー演習Ⅰ			卒業論文
		情報リテラシー演習Ⅱ			
外国語科目	外国語	Comprehensive English 初級Ⅰ・Ⅱ	English Communication 初級Ⅰ・Ⅱ		
		Introduction to TOEIC Ⅰ・Ⅱ			
		初級外国語Ⅰ・Ⅱ			
	観光英語	観光英語Ⅰ・Ⅱ	観光英語Ⅲ・Ⅳ	観光英語Ⅴ・Ⅵ	
教養科目	教養共通		リベラルアーツ演習		
	教養基礎	人文地理学Ⅰ・Ⅱ 民俗学Ⅰ・Ⅱ 歴史学入門（日本史）Ⅰ・Ⅱ 社会環境論Ⅰ・Ⅱ 現代女性論Ⅰ・Ⅱ 自然地理学Ⅰ・Ⅱ 自然環境論Ⅰ・Ⅱ その他関連科目			
キャリア科目	キャリア形成 他	RKU 入門 キャリアデザイン キャリア基礎（言語）（計算）	観光キャリアケーススタディ キャリアマネジメント インターンシップ（準備） キャリア基礎（文章）（推理）	インターンシップ（報告） 職業選択論	
専門必修科目	学科基礎	観光概論 社会学概論			
専門選択必修科目	専門研究基礎		観光社会学 観光人類学 観光心理学 社会調査法		
	専門基礎 （基礎共通）	観光地理（国内・基礎） 観光地理（海外・基礎）	日本文化史 社会調査実践法 社会統計学 質的調査法		
	専門基礎 （地域）		観光地理学 観光行動論 空間観光論 観光事業論 観光地理（国内・発展） 地域社会学 地域づくりの社会学 地域空間論		
	専門発展		プロジェクト学習Ⅰ・Ⅱ プロジェクト学習Ⅲ・Ⅳ	テーマツーリズム特講 プロジェクト学習Ⅴ・Ⅵ 文化と観光 地域経済論Ⅰ・Ⅱ 観光の法と政策 地域起こし政策論	
専門選択科目	観光関連科目				地域福祉論Ⅰ・Ⅱ 社会保障論Ⅰ・Ⅱ 地方自治論Ⅰ・Ⅱ 経済地理学Ⅰ・Ⅱ他

2021年（令和3年）4月発行

社会学部

履修要綱

流通経済大学

RKU

<http://www.rku.ac.jp/>